

令和 6 年度事業報告書

一般財団法人 A V C C

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

目 次

はじめに.....	3
I 霞が関ナレッジスクエア事業.....	5
(1) 「デジタル公民館@サイクル」の実現に向けて.....	5
(2) デジタル社会のしごと力を学ぶプログラムの開発・提供.....	12
(3) 必ず来る災害に備えるレジリエンスを鍛える.....	22
(4) バリアフリーコミュニケーションの推進.....	23
(5) KK ² 事業運営.....	24
II イノベーション企画部.....	33
(1) 防災情報化支援トータルコンサルタント事業.....	33
(2) 誰も取り残さないデジタル化推進事業	42
III デジタルイノベーション部.....	45
(1) 法人向けデジタル化支援事業.....	45
(2) TV会議システム／Web会議システムの構築、運用、保守管理業務.....	46
(3) 映像情報システム運用支援・設計業務（構築、運用、保守管理業務）	47
IV AVCC組織運営に関する事項.....	49
(1) AVCC マネジメントシステム.....	49
(2) AVCC 賛助会.....	51
(3) AVCC 相互協力協定（MOU）締結組織.....	51
(4) AVCC & KK ² 事業説明会の開催.....	51
V AVCCの人財の拡充と育成.....	53
(1) AVCCが求める人財像.....	53
(2) 公的資格取得支援.....	53
(3) 業務に活用できるAIの利用環境の充実を図る（IT総務部 ITチーム）	53
(4) 社内インフラの管理及びメンテナンスの強化（IT総務部 ITチーム）	54
(5) 業務効率化に繋がる新しい技術の探索及び導入（IT総務部 ITチーム）	54
(6) 従業員の働く環境をサポート（IT総務部 総務グループ）	55
VI 運営に関する事項.....	56
(1) 役員名簿.....	56
(2) 会議の開催.....	56
(3) 会員等（令和7年3月）	58

はじめに

令和6年度、一般財団法人AVCCは、「高度で価値あるコミュニケーション（Advanced Valuable Communication）」の社会実装と、「誰も置き去りにしないデジタル社会」の推進を目指して活動を行いました。

「高度で価値あるコミュニケーション」の社会実装に向けては、霞が関ナレッジスクエア（KK²）において、教育のDXを推進するKK²エデュケーションサービスを提供しました。本サービスでは、教育機関における双方向型かつ質の高い学びを実現し、企業内教育や学校教育における効果的な人材育成を支援しました。さらに、デジタル技術を活用した学びと交流の場を創出し、社会で活躍するために必要な「しごと力」や、変化にしなやかに対応する「レジリエンス」の育成にも取り組みました。

また、企業や自治体が抱えるデジタル社会での課題に対しては、効果的なデジタル技術と円滑な運用を組み合わせたシステムやサービスの企画・設計を行いました。具体的には、情報共有と意思決定を支援する会議・映像システムの構築、業務プロセスのデジタル化による効率向上、AIなど先端技術を活用した新たなコミュニケーション手法の提案などを進めました。これらの取り組みは、組織内外のコミュニケーションを活性化させ、より高い価値の創出を目指すものです。

「誰も置き去りにしないデジタル社会」の推進においては、急速に進展するデジタルトランスフォーメーション（DX）の中で、その恩恵から取り残される「デジタル弱者」の課題に取り組みました。「デジタル・デバイド（情報格差）」の解消こそが、持続可能で包摂的な社会の実現には不可欠であるという認識のもと、AVCCは「デジタル・バリアフリー」の実現を目標に掲げました。

この「デジタル・バリアフリー」とは、年齢、障害の有無、地域的・経済的状況にかかわらず、すべての人が平等にデジタル技術やサービスにアクセス・活用できる環境を整備することを意味します。KK²が提唱する「デジタル公民館®」構想は、まさにこの理念を体現するものであり、年齢やスキル、地域に関係なく誰もがデジタル技術を学び、活用できるインクルーシブな環境の提供を目指しています。

また、高齢者や情報面で困難を抱える方々を支援するため、社会的に弱い立場にある人々を見守り、必要な情報を的確に届けることを目的とした新たな技術の開発に着手し、その社会実装に向けた実証実験も開始しました。これは、デジタル技術を駆使して孤立を防ぎ、安全かつ安心な暮らしを支

えることで、「デジタル・バリアフリー」の実現への第一歩となるものです。

AVCCでは、こうした事業活動と併せて、組織運営の基盤強化にも注力しました。総合マネジメントシステムに基づき、事業の継続性を確保するとともに、情報セキュリティ管理体制の維持・向上を図りました。さらに、職員一人ひとりの専門性と創造性を高めるための人材育成プログラムを実施し、AIをはじめとする新技術の業務活用を全社的に推進する「AIコネクト」の整備にも力を入れました。

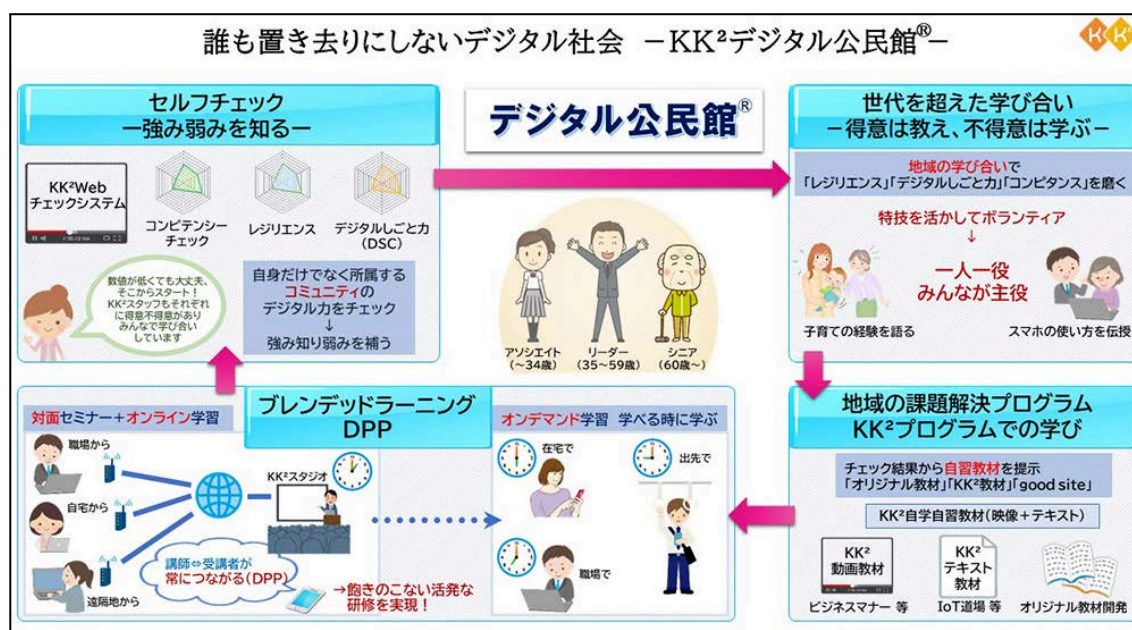
AVCCの活動は、多くの協賛メンバー・会員の皆様、そして関係機関のご理解とご支援があってこそ成り立っております。令和6年度に積み重ねた成果と経験を礎に、AVCCは今後とも、「高度で価値あるコミュニケーション」の社会実装、そして「デジタル・バリアフリー」の実現を通じた「誰も置き去りにしないデジタル社会」の構築という使命を果たすべく、より良い社会の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

I 霞が関ナレッジスクエア事業

霞が関ナレッジスクエア（KK²）は、「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」をミッションに掲げ、「いつでもどこでも誰もが学べる」民設民営の「デジタル公民館®」として活動しています。令和6年度も「高度で価値あるコミュニケーション」（Advanced Valuable Communication）の社会実装を目指し事業を推進しました。

（1）「デジタル公民館®サイクル」の実現に向けて

KK²は、いつでもどこでも誰もが学べる環境を提供する「デジタル公民館®サイクル」（以下図参照）の実現を目指し活動しています。



令和6年度は「デジタル公民館®サイクル」のプラットフォームであるKK²Webサイトのリニューアルを計画し、準備を進めました。また、KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）の運営・提供、地域のデジタル公民館®活動の支援を継続して行いました。

- 1 KK²Webサイトリニューアルの実施

「デジタル公民館®サイクル」の基盤であるKK²Webサイトのリニューアルは、一人ひとりのニーズに応じた情報提供を行い、パーソナライズされたコミュニケーション（Advanced Valuable Communication）と、言語・社会・物理的障壁を越えてアクセスしやすい環境（Barrier-free Communication）の実現を目的としています。

令和6年度計画では、令和7年3月に新KK²Webサイトの公開を予定していましたが、作業の遅れのため令和7年6月公開に変更しました。トップページのナビゲーションの向上、検索機能の向

上、リコメンド機能の強化、音声入力、動画の字幕表示（現在一部対応済）、PCページとスマートフォンページの統一等について対応を進めています。

-2 KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）の運用・提供

KK²では「自ら考え行動するデジタル人材」の育成を目的に、ブレンデッドラーニングを活用した人材育成プログラムを実装しています。「[KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）](#)」は、ブレンデッドラーニングを実現するためのプラットフォームであり、「リアル研修／集合学習」「ライブ学習」「オンデマンド学習」の三つの学習形態で、レスポンス・アナライザ（Response Analyzer）を活かした「Tow Way Communicationの実践」と「Digital Transformationの支援」を提供しています。

※ KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）は、協力会社である株式会社メディアリンクにより、特許を取得しています（特許番号：第6507328号、第6582262号）。

令和6年度も教育のDX（システム化）支援を目的に、DPPを活用したKK²エデュケーションサービスとしての展開を図りました。

KK ² エデュケーションサービス					
KK ² デジタルプレゼンテーションプラットフォーム（DPP）				KK ² 基本サービス	
レスポンスアナライザ（RA）サービス	セルフチェックサービス	ラーニングサポートシステム（LSS）サービス	ラーニングマネジメントシステム（LMS）サービス	無料Web会員向けサービス	協賛メンバー向けサービス
【学校教育・研修】	【企業／組織／団体】	【企業／組織／団体】	【企業／組織／団体】	【一般／企業】	
「リアル研修／集合学習」「ライブ学習」「オンデマンド学習」の三つの学習形態で、「Tow Way Communicationの実践」と「Digital Transformationの支援」を提供します。企業の研修やイベント、大学の授業などの教育現場で利用できます	質問に回答すると、個人の特性を分析・評価してスコアと順位が表示され、自身の理解度を相対的に知ることができます。スコアに応じコメントやおすすめコンテンツを紹介し、あなたのスキル向上を支援します。	テキスト・動画を教材とした自学自習のオンライン学習システムです。学習者ごとの理解習得を一定の基準に照らす「検定」として利用することもできます	ライブ研修、オンデマンド学習に対応したオンライン学習サービスです。設問・テスト・アンケートを組合せ、受講結果を分析することで受講率、理解度を把握できます	『共に考え、共に学び、共に担う社会へ』をミッションに掲げ、若者からシニアまで多様な人々が学び交流する「リアルな場」と、インターネットに接続した情報端末（パソコン・スマホ等）でオンライン学習・オンデマンド学習ができる、いつでもどこでも誰でも学べる「学習プラットフォーム（KK ² Webサイト）」を提供します	

KK²エデュケーションサービス概念図

①DPP/RAによるTwo Way Communicationの実践

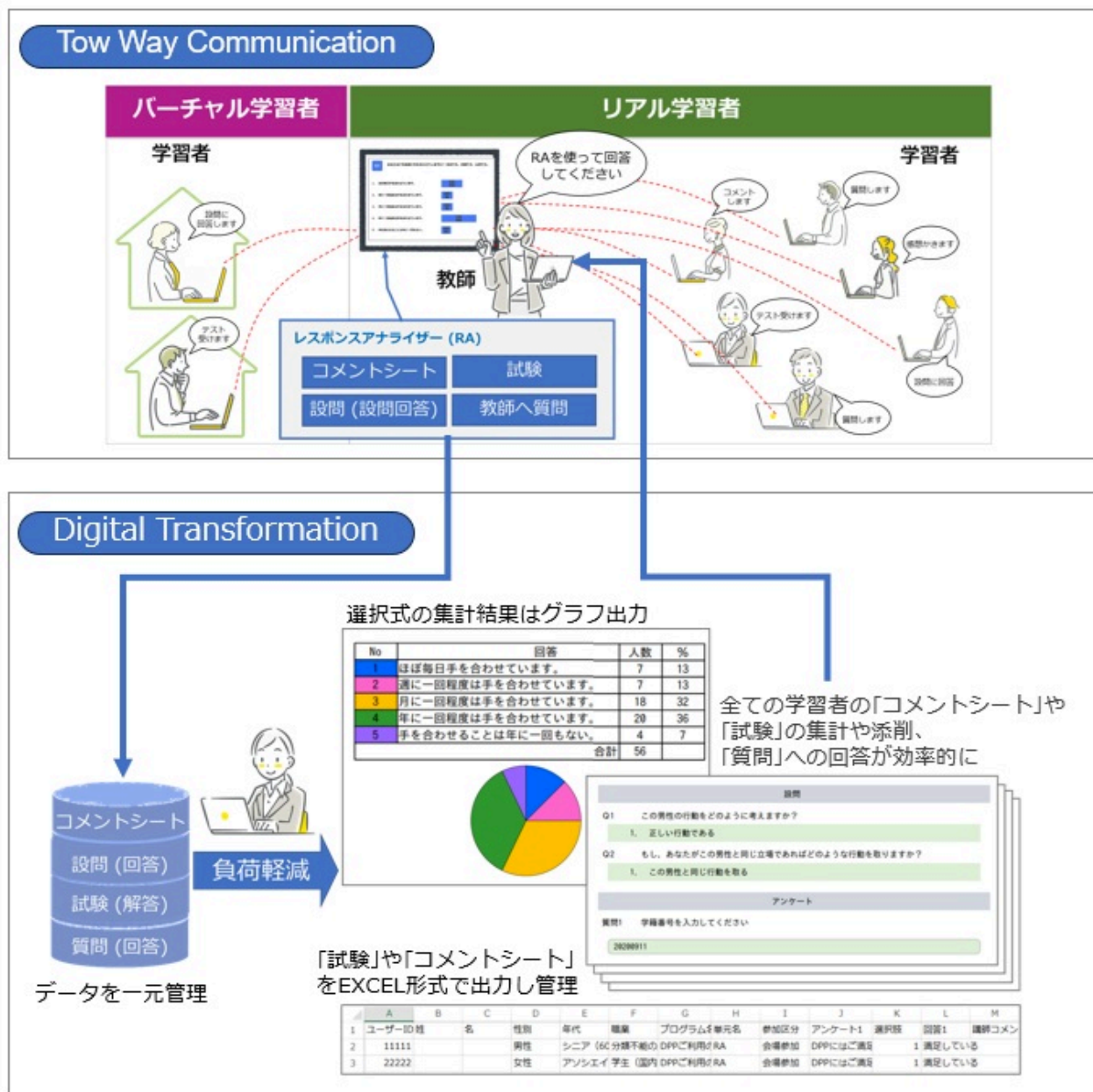
レスポンスアナライザ（RA）により、講師と学習者（リアル＋バーチャル）との対話型授業を実践します。講師は、目の前の学習者とオンライン学習者一人ひとりの反応（行動）を把握し、自らの授業を評価し効果的な授業を実現します。

②DPP/RAによるDigital Transformationの支援

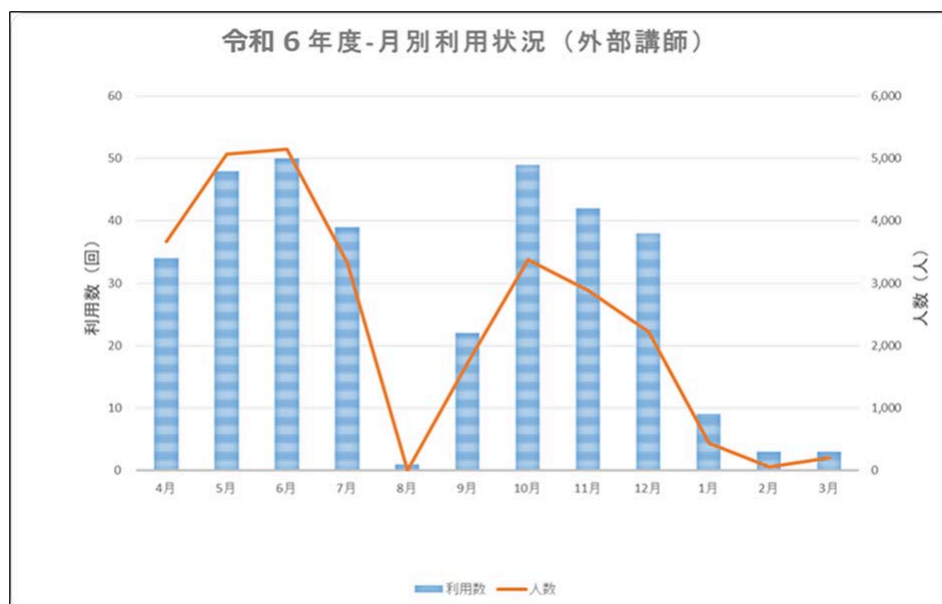
「試験」「コメントシート」「質疑」等、講師と学習者（リアル＋バーチャル）間で情報をすべて紙ベースからオンライン化し、データとして管理します。集計・添削・質問への回答を効率的に行うことができ、文字が見やすく、講師の「負荷軽減」「働き方改革」を支援します。

令和6年度は3つの大学において、338回の授業、延べ28,000名の学生がDPPを活用した授業

に参加し、また、協賛メンバー様が主催する検定受講者のアンケートでも約200名の方にDPPをご利用いただきました。

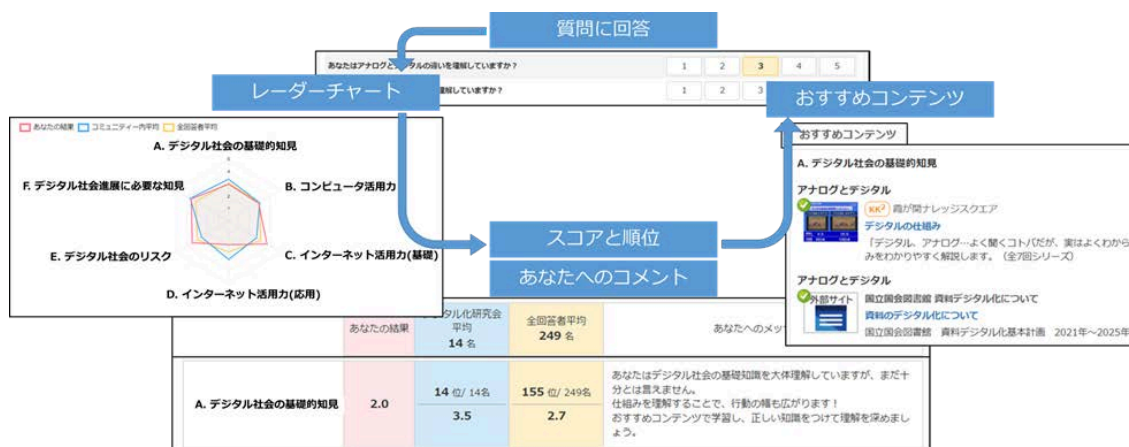


KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム概念図



③多岐選択式セルフチェックシステムの提供

様々なリテラシーを測るため多数の多岐選択質問に回答することで、学習者自身の理解度とグループ内の「順位」等を知ることができます。また、同時に提示される「アドバイス」と「おすすめコンテンツ」は、学習者を動機付けし「自学自修」をサポートします。



多岐選択式セルフチェックシステム概念図

令和6年度も引き続き、KK²Webサイトのチェックシステムサービスとして、[デジタル活用力チェック \(DKC\)](#) と [デジタルしごと力チェック \(DSC\)](#) を提供しました（P15参照）。

④テキストベース個別学習システムの提供

学習者はテキストベースの教材により自学自修と実習を進めます。テキスト中のリンクを読み込むと参考データを見ることができ、疑問点等を質問することができ、教師や Training Assistant

Volunteer (TAV) がエキスパートサポートとして問い合わせに回答します。また、生成AIを利用し、会話形式による問い合わせと回答が自動的に行われ、「FAQ」として蓄積されます。

令和6年度は、KK²以外の組織・団体の方でも、管理画面を通じて自身の講座を登録し利用できるようにシステムを改修し、協賛メンバー様が主催する「ANAユニバーサルスタンダード検定」でご利用いただいています。

-3 KK²ラーニングサポートシステム (LSS) の提供

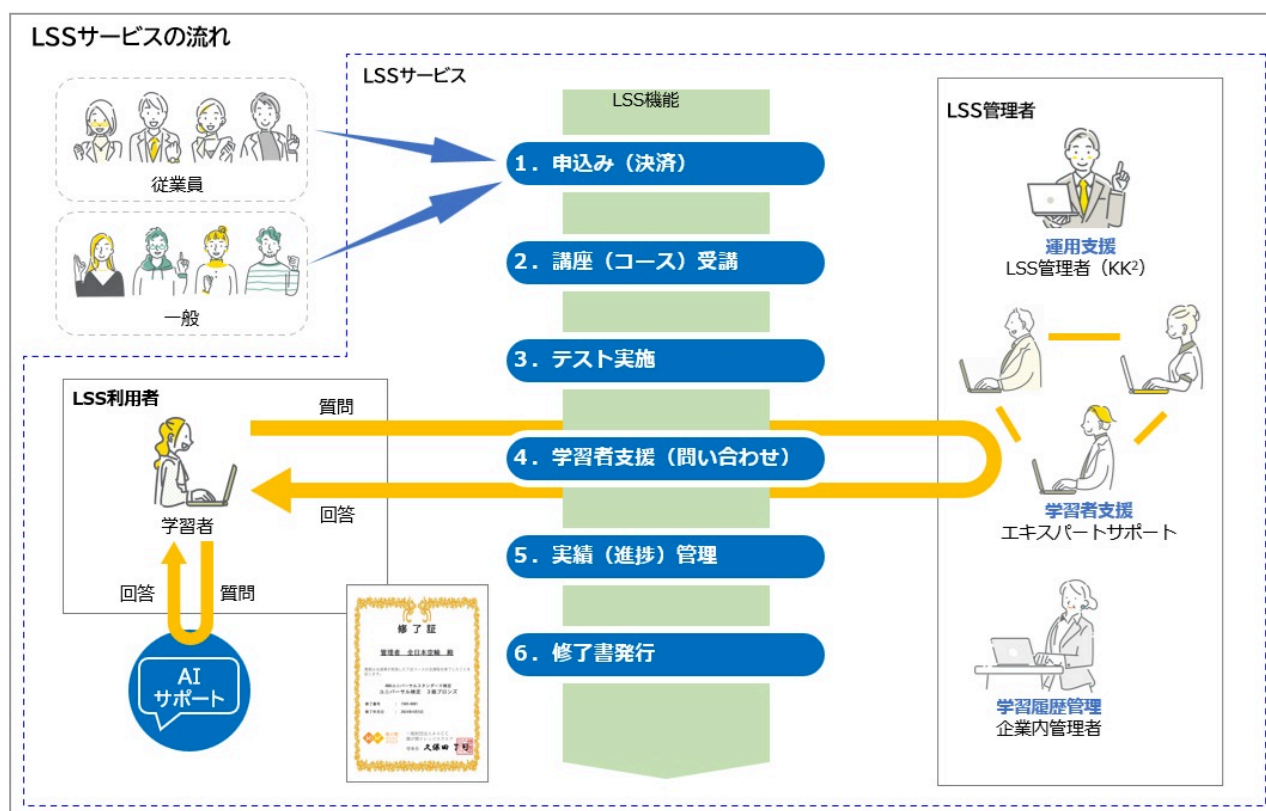
前述の「KK²ラーニングマネジメントシステム」の「受講者支援（問い合わせ）」機能を強化し、オンライン学習者の学びをサポートする「KK²ラーニングサポートシステム (LSS)」を提供しています。

令和5年度よりLSSを利用して「[IoT道場](#)」で「Python基礎講座」、「Python IoT 応用講座」を提供しており、令和6年6月には「Pythonビジネス講座」を新たに開設しました。

また、令和6年7月より協賛メンバー様であるANAウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社様が主催する「[ANAユニバーサルスタンダード検定](#)」でも活用いただいています。本検定は「心の輪」を広げ、より良い社会の実現に向けて多様性を認め、様々な課題を抱える人々に対して寄り添える人材育成の貢献を目的に創設されました。「ブロンズ（3級）」（令和6年7月開始）、「プラチナ（2級）」（令和6年8月開始）、「ダイヤモンド（1級）」（令和6年11月開始）の3つの種別で構成され、ブロンズ（3級） 1,591名、プラチナ（2級） 736名、ダイヤモンド（1級）

354名の方に学習していただいています。また、ANAグループ職員限定で提供されていましたが、3級（ブロンズ）については令和7年3月より一般に向けて公開を開始しました（協賛メンバー：3月末までは無料、一般：3,000円税込）。

検定で提供しているオンデマンド教材は、令和5年度にANAウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社様にご協力いただき開発した、KK²しごと力向上ライブラリ「[障がい当事者が語る！コミュニケーションのバリアフリー](#)」を活用いただいています。検定は、オンデマンド教材8単元とテストの構成で提供されており、修了書も発行されます。



LSSサービスの概念図

-4 KK²ラーニングマネジメントシステム（LMS）の提供

「KK²ラーニングマネジメントシステム」は、「リアル研修（KK² or セミナー会場）」「ライブ学習」「オンデマンド学習」で学習機会を増やし「自分で自分を育てる」自律した人材を育てることを目的としています。KK²で開発し公開している、社会や組織で活躍するために必要な「しごと力」を学べる動画プログラムや組織のオリジナル動画を教材として活用することができます（協賛メンバー様限定）。

令和6年度は継続して、2団体にご利用いただき、学習対象者は1,544名となっています。

No	組織・団相	学習者対象者数	コース数	プログラム数
1	A	1,458 名	2	20
2	B	86 名	1	12

-5 協賛メンバー様専用ページの提供（協賛メンバーページ）

KK²Webサイトのログイン時、メールアドレスのドメイン名（@以下）を認識し、協賛メンバー

様の組織名称等を表示する専用ページサービスをご提供しています。KK²プログラムの中から従業員に学んでほしいプログラムをピックアップして掲示することや協賛メンバー様のオリジナル動画の教材も登録が可能です。また、前述の「KK²デジタルプレゼンテーションプラットフォーム

（DPP）」もご利用いただけます。ユーザー様向けの管理画面を用意し、専用ページの編集・学習者管理・学習履歴を閲覧していただくことができます。

令和6年度も継続して、協賛メンバーページを4団体にご利用いただきました。従業員の方の学びの場としてご活用いただいています。

- 6 地域のデジタル公民館®活動支援

デジタル公民館®活動の一環として、地域のデジタル・ディバイドの解消や地域の魅力を発信する活動の支援を行っています。

①「[デジタル公民館まっさき](#)」活動（岩手県大船渡市末崎地区）

東日本大震災をきっかけに岩手県大船渡市末崎（まっさき）地区公民館を中心に地域の方たちと交流を続けています。これまで「PCスマホよろず相談教室」の開催支援（2012年～2019年）、復興に向けて活動されているまっさきのみなさんのお話を収録しアーカイブ動画の公開等を行っています。

令和6年度は、4年に1度開催される[大船渡市末崎町中森鎮座 熊野神社式年大祭（10月19日開催）](#)を撮影し、町民文化祭（10月16、17日）のデジタル公民館まっさき活動のブースで上映をしました。動画はKK²Webサイト、まっさきWebサイトで公開しています。

また、[Webサイト「デジタル公民館まっさき」](#)のリニューアル（令和6年6月17日公開）を行い、懸案であったSSLへの対応を行いました。なお、Webページの更新は、末崎地区公民館の方に行っていただいております、引き続き運用支援およびサーバ運用を行いました。

②「[デジタル公民館やねだん](#)」活動（鹿児島県鹿屋市串良町柳谷集落）

行政に頼らず自律したむらづくりを行っている「やねだん」のデジタル化を支援しています。やねだん自治公民館に設置したWi-Fi、TV会議機器を活用して、[豊重哲郎館長](#)が塾長を務める「やねだん故郷創世塾」でのオンライン活用を支援しています。



令和6年度は、年2回開催される「やねだん故郷創世塾」（塾長：豊重哲郎氏）でのカリキュラムの一角にKK²代表 久保田了司（第11期卒塾生）がオンライン講義を行いました。DPPを活用した双方向形式で実施しました。収録動画はKK²Webで公開しています。



- ・「第35回やねだん故郷創世塾」令和6年5月12日
テーマ「[デジタルしごと力入門](#)」 24名参加
- ・「第36回やねだん故郷創世塾」令和6年11月9日 テーマ「[デジタル社会のリスク](#)」 24名参加
また、[Webサイト「やねだん」](#)の更新と運営業務、「故郷創世塾」卒塾生の情報共有の場である
メーリングリスト運営管理業務も継続して行いました（令和7年3月末時点 220名登録）。

（2）デジタル社会のしごと力を学ぶプログラムの開発・提供

KK²では、「社会で活躍するために必要な力」を「しごと力」と呼んでいます。これは、知識やスキルに加え、Feel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（行動力）といった行動特性（コンピテンシー）、さらに変化へしなやかに対応する力（レジリエンス）を含む総合的な力です。

デジタル化が急速に進展する中で、一人ひとりのデジタルスキル向上が求められる一方、時代が変わっても変わらない「しごと力」の重要性も増しています。令和6年度も、デジタル社会で求められるしごと力を学び、考えるためのプログラムを継続して開発・提供しました。

- 1 デジタルスキル向上に資する自学自習の場の提供

KK²はデジタル公民館®として「いつでもどこでも誰でも」デジタルスキルを学べるプログラムを提供し、得意な人が不得意な人に教える学び合いの活動を促進することでデジタルデバイドを解

消することを目指しています。

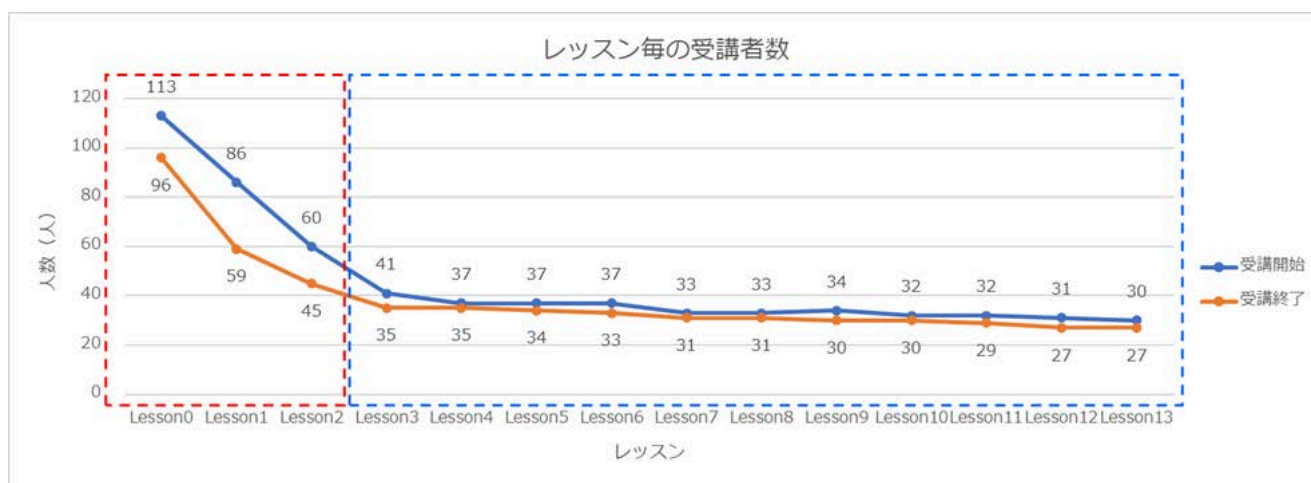
① 「IoT道場 ～RaspberryPiとPythonでIoTに挑戦！～」の開発・提供

令和4年度よりPythonのプログラムを学ぶ「IoT道場」の教材を提供しています。多くの方に入門いただき、自らの課題を考え解決することができるデジタル人材の育成に役立てていただくことを目的としています。

1) Python基礎講座（無料プログラム）

学習者のPC（Windows or Mac）上でThonnyというツールを使いPythonを習得します。パソコンとインターネット環境があれば学習ができますので、特別な機材の準備は不要です。Pythonは、様々な分野や目的に応じて、過去にプログラムされたひな形のライブラリーが充実しており、その範囲は科学技術計算やAIまで幅広い分野に及びます。膨大なライブラリーを誰もが自由に無料で利用でき、積み木を組み合わせるようにして自分のプログラムを作ることが可能です。

令和6年度の受講状況を分析すると、Lesson0からLesson2までの最初の部分で受講人数が減少する傾向は、前年度から大きく変わっていない状況でした。自学自修を継続していただくための方策を継続的に検討を進めます。



Python基礎講座・Lesson毎の受講者数推移（令和6年度）

No	講座名	区分	レッスン数	公開開始日	申込み人数	受講中人数	受講修了人数
1	Python 基礎講座	無料	14	2023/05	148(73)	87	27

※申込み人数の（ ）内の数字は、令和6年度の人数

2) Python IoT 応用講座（有料プログラム）

Pythonのプログラミング基礎を理解した後は「拡張基板」と「RaspberryPi400」を使い実習をしながらIoTを学べる講座を用意しています。「RaspberryPi」がIoTに向いているのは、外部装置との信号のやりとり、電流を送ったりする40ピンI/O端が付いていることです。この40ピンI/O端に接続して幾つかのIoT実習を行うことができる「拡張基板」を開発しました。「拡張基板」と「RaspberryPi400」を接続するだけでIoT実習とプログラム学習ができます。

令和6年度は、3名の申込者があり、2名の方が受講修了しています。また、令和6年5月にはGUI、LINE通知等、9レッスンを追加（全21レッスン）し、IoTに関連する学習の充実を図りました。

No	講座名	区分	レッスン数	公開開始日	申込み人数	受講中人数	受講修了人数
2	Python IoT 応用講座	有料	21	2023/08	6 (3)	2	4

※申込み人数の（ ）内の数字は、令和6年度的人数

3) Pythonビジネス講座（無料プログラム）

令和6年度は、Python基礎講座（無料プログラム）の受講者アンケート結果で要望が多かった、ビジネス活用（データ処理）に対応するため、[「Pythonビジネス講座 ～ワードクラウドでデータ分析～」](#)を開設しました。データ分析用のPythonプログラムにご自身のビジネスに合わせた修正を加えることで、データの有効活用とプログラミング学習の両方が習得できます。また、紹介・PR用に

[「Pythonビジネス講座に挑戦しよう！」（3分46秒）](#)と題した漫画動画を制作しました。KK²WebサイトとYouTubeで公開しています。

令和6年度の申込者数は29名、そのうち受講中は13名、修了は1名となっています。自学自修を後押しする仕組み作りの検討を進める必要があります。

No	講座名	区分	レッスン数	公開開始日	申込み人数	受講中人数	受講修了人数
3	Python ビジネス講座	無料	3	2024/06	29(29)	13	1

※申込み人数の（ ）内の数字は、令和6年度的人数

② デジタル活用力チェック（DKC）/デジタルしごとチェック（DSC）の提供

KK²では「チェックシート機能」を活用して以下2つのセルフチェックを公開しています。

「デジタル活用力チェック（DKC Ver.2.0）」

- A. デジタル社会の基礎的知見
- B. コンピュータ活用力
- C. インターネット活用力（基礎）
- D. インターネット活用力（応用）
- E. デジタル社会のリスク
- F. デジタル社会進展に必要な知見

「デジタルしごとチェック（DSC）」

- A. データ活用力
- B. デジタル情報発信力
- C. リモートワーク力
- D. デジタル人間関係力
- E. デジタル問題解決力
- F. デジタル行動力

それぞれ6つのカテゴリーにおいて、セルフチェック機能とチェック後にスコアに応じて推奨する学習教材を提示し自学自修することができます。

令和6年11月には、DKC、DSCのおすすめコンテンツを見直しを行い、同時にPython基礎講座、Python IoT応用講座、Pythonビジネス講座をおすすめコンテンツに新たに追加しました。

令和6年度までに「デジタル活用力チェック（DKC）」は5つのコミュニティで347名、「デジタルしごとチェック（DSC）」は3つのコミュニティで105名の方に利用していただいています。

DKC（左）、DSC（右）集計結果



- 2 デジタル社会に求められるしごとと力を考え・学ぶ場の提供

①「デジタルTERA小屋～エキスパートと学ぶ～」企画・開発

江戸時代の「寺子屋」をヒントに、デジタル社会における「TERA」サイズの学びの場「デジタルTERA小屋～エキスパートと学ぶ～」をシリーズで開催しています。既存の枠組みにとらわれず新たな価値の創造や課題解決に取り組むエキスパートと「デジタル社会をどう生きるか」について参加者と共に学びます。毎回テーマを設定しエキスパートよりお話をいただいた後、モデレーターとのクロストーク、RAで参加者より寄せられたコメント・質問で議論を深めていきます。

令和6年度は、令和7年3月6日「社会の変化を会計で読み解く～どう働き、どう生きるか～第11回デジタルTERA小屋 野田弘子さん」を開催しました（参加者：会場16名、ライブ49名）。30分の基調講演の後、伊庭野基明モデレーターの進行で活発な質疑応答が行われました。なお、「住民主体のまちづくり～新しい共創のかたち『鎌倉リビングラボ』に学ぶ～第10回デジタルTERA小屋 秋山弘子さん」（令和6年10月11日開催を予定）を企画し受付も行いましたが、諸般の都合により開催が中止となりました。

デジタルTERA小屋	開催日	会場参加者	ライブ参加者	内訳メンバー	内訳Web会員	動画視聴者数	合計
第10回	2024/10/11	中止	-	-	-	-	-
第11回	2025/3/6	16	49	44	21	151	216
	合計	16	49	44	21	151	216

② KK²キャリア相談室の実施・普及促進

「KK²キャリア相談室」は、就職紹介ではない、キャリア相談に特化したカウンセリングが特徴です。転職や就職はもちろん、仕事や職場で気になること、仕事と家庭とのバランスの取り方や将来についての漠然とした不安など、幅広いテーマについて経験豊富なカウンセラーに相談することができます。運営にあたっては、特定非営利活動法人日本キャリア開発協会（JCDA）様にご協力をいただいています。

令和6年度も、様々な経歴を持つ、堀田治見さん、垣内啓江さん、徳橋英治さん、早坂明美さんの4名のカウンセラーに担当していただきました。毎週月曜日～金曜日（10時開始～20時終了）、オンラインと対面での実施を選択できます。

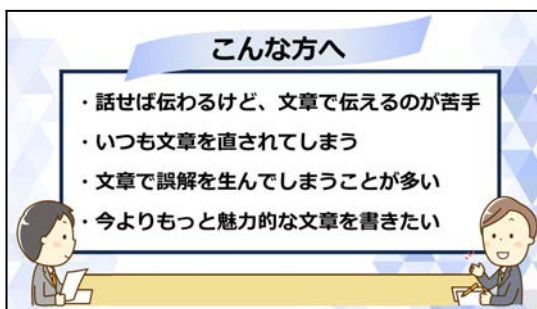
カウンセラー紹介			
オンライン  堀田 治見 株式会社トップ・ノッチ(人材育成及びキャリアコンサルティング・コーチング)代表取締役。国家資格キャリアコンサルタント。文部科学省(一財)生涯学習開発財団 認定プロフェッショナルコーチ。	オンライン  垣内 啓江 国家資格キャリアコンサルタント。JCDAキャリア・デベロップメント・アドバイザー。2級キャリアコンサルティング技能士	オンライン  徳橋 英治 JCDAキャリア・デベロップメント・アドバイザー	対面 オンライン  早坂 明美 国家資格キャリアコンサルタント、JCDAキャリア・デベロップメント・アドバイザー

なお、令和6年度は8名の方にご利用いただきました。利用者のプロフィールは、8名とも「女性・リーダー層（34～59歳）」の方で、相談事項は「転職（62%）」「今後のキャリア（13%）」「その他（25%）」でした。

③ 「しごと力向上ライブラリ」の開発・提供

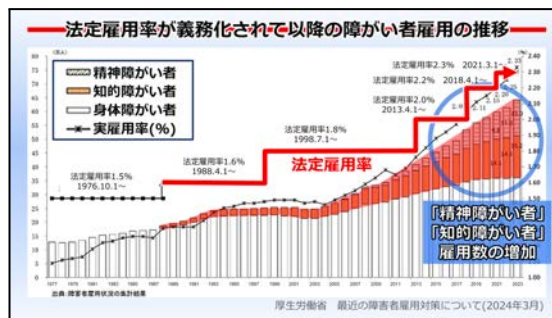
KK²では「社会で活躍するために必要な力」を「しごと力」と呼んでいます。知識、スキルだけでなく、Feel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（行動力）の行動特性（コンピテンシー）と変化にしなやかに対応する力（レジリエンス）を含む総合的な力です。

令和6年度は、MOU締結団体の一般社団法人話力総合研究所様にご協力をいただき「[文章で人の心を動かすための『5つの基本』](#)」（6単元、講師：林野浩芳氏 一般社団法人話力総合研究所理事）を制作・公開しました。動画再生回数は834回でした。



講座名	オンデマンドレビュー（5段階評価）	
文章で人の心を動かすための「5つの基本」	4.8	
単元名	公開日	再生回数
0. はじめに	2024/4/25	384
1.文章を書くための基本ルール	2024/5/16	161
2.よい文章を書くための工夫	2024/5/30	107
3.文章構成法	2024/5/30	56
4.伝わる文章の「型」	2024/7/4	74
5.文章を推敲する	2024/7/25	52
	合計	834

また、ANAウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社Universal Standard Consulting事業部に
ご協力をいただき「[障がい者と共に働く共生社会『量から質へ』](#)」（5単元、講師：俣野 公利 氏
ANAウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社 Universal Standard Consulting事業部）を制作・公開
しました。動画再生回数は177回でした。



講座名	オンデマンドレビュー（5段階評価）	
障がい者と共に働く共生社会「量から質へ」	4.8	
单元名	公開日	再生回数
1.障がい者雇用の現状	2025/2/6	71
2.障がい者の定義と合理的配慮	2025/2/20	45
3.精神障がい・発達障がいの特性	2025/2/27	30
4.事例：職場での環境づくり	2025/3/13	17
5.事例：職場で働く障がい当事者と上司の声	2025/3/27	14
	合計	177

なお、令和6年度は、公開中の動画をテーマ別に整理した特設ページの作成を進めました。ターゲットを明確にして発信することで視聴していただく機会を拡大していくことを目的としています。以下2つの特設ページを公開しました。

- ・「[高畑敬一さんのメッセージ『君たちに伝えたい』](#)」（令和6年7月公開）

*NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ（ナルク）元会長 高畑敬一さんご出演プログラム：
令和2年2月8日ご逝去

- ・「[50代のあなたへ 動画で学ぶ『健康・お金・介護 etc』 人生2周目、どうデザインする？](#)」（令和6年11月公開）

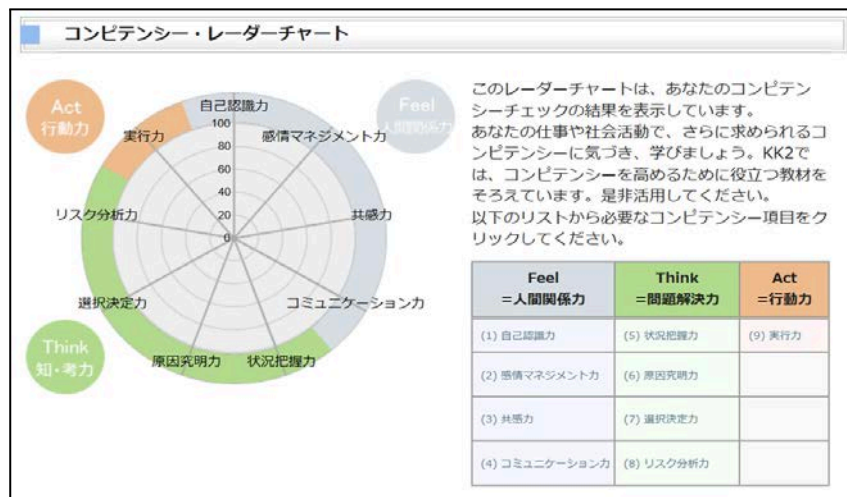
④「[コンピテンシー・チェック](#)」の提供（Webチェックプログラム）

～「Feel」「Think」「Act」あなたのコンピテンシーをチェック～

社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人が備える「しごと力」の中核となるコンピテンシー「Feel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（行動力）」について理解し、自分自身の学習課題を知るWebチェックプログラムです。Web会員登録を行えばどなたでも無料で利用できます。

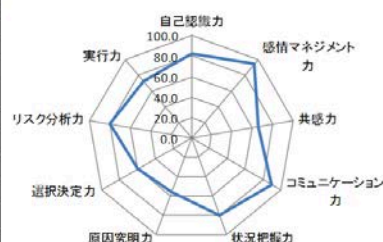
KK2「コンピテンシー」9項目に関するケーススタディ（ドラマ）を視聴し、自分ならどう考え行動するのかをWeb上に入力します。入力内容と模範回答をセルフチェックし、自分に足りないコンピ

テンシーについて気づきを促す学習プログラムです。



令和6年度は63回、20名の方にご利用いただきました。

講座名		ケーススタディ	理解度 平均スコア	受講回数
人間関係力 (Feel)	自己認識力	「就職活動」	82.4	17
	感情マネジメント力	「年下の上司」	94.4	9
	共感力	「父親の転勤」	66.0	5
	コミュニケーション力	「バイトのシフト交替」	90.0	5
問題解決力 (think)	状況把握力	「町のゴミ問題」	80.0	5
	原因究明力	「パソコン故障の原因」	56.0	5
	選択決定力	「妹の進路決定」	60.0	5
行動力 (Act)	リスク分析力	「犬小屋づくり」	80.0	7
	実行力	「アイスホッケーのスターになるために」	72.0	5
合計				63



⑤ 「霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～」企画・開催

「エキスパート・スタジオ」ゲストの**柴田文啓住職**に禅や坐禅についてお話をいただいたことをきっかけに、臨済宗妙心寺派東京禅センター様にご協力いただき、法話と坐禅がセットになった仕事帰りに気軽に坐禅体験ができる「霞が関坐禅会」を開催しています。仕事帰りに気軽に参加していただけるように、初心者の方の方向けにもわかりやすい解説を行い、椅子坐禅も用意しています。日頃忙しいビジネスパーソンが、自分自身と向き合いリフレッシュしていただく場として活用していただいています。長年のビジネス経験をお持ちの講師の法話は、ビジネスパーソンの様々な心配事や悩み解消のヒントになると好評です。令和6年度は、以下の通り3回開催しました。



・令和6年5月30日開催 第十六回 霞が関坐禅会

法話テーマ：「気づき」は疑問の種 百花春至為誰開（ひゃっかはるいたってだれのためにかひらく）

講師：太田 宗誠さん（臨済宗妙心寺派 宗門活性化推進局）

参加人数：14名（オンデマンド動画視聴109回）

・令和6年11月14日開催 第十七回 霞が関坐禅会

法話テーマ：禅を携えて社会に出よう -心身一如（しんしんいちによ）-

講師：太田 宗誠さん（臨済宗妙心寺派 宗門活性化推進局）

参加人数：16名（オンデマンド動画視聴137回）

・令和7年2月20日開催 第十八回 霞が関坐禅会

法話テーマ：禅を携えて社会に出よう -放下著（ほうげじゃく）-

講師：太田 宗誠さん（臨済宗妙心寺派 宗門活性化推進局）

参加人数：14名（オンデマンド動画視聴28回）

霞が関坐禅会	開催日	会場参加者	内訳メンバー	内訳Web会員	動画視聴者数	合計
第十六回	2024/5/30	14	2	12	109	123
第十七回	2024/11/14	16	6	10	137	153
第十八回	2025/2/20	14	7	7	28	42
	合計	44	15	29	274	318

⑥「霞が関寄席」の企画・開催

忙しいビジネスパーソンが仕事帰りに古典芸能に気軽に触れることができる、人気プログラムです。

令和6年度も、金原亭一門にご協力いただき、会場とライブ配信のハイブリッド形式で3回開催しました。5月には、長年霞が関寄席にご出演いただいている金原亭馬玉師匠が金原亭小馬生師匠へ改名した披露公演となり、金原亭馬生師匠をお迎えしての華やかな会となりました。



会場参加に296名、ライブ配信視聴には98名の方にご参加いただきました。オンデマンド視聴は313回でした。

・5月17日開催「馬玉改メ小馬生改名披露特別公演 五月霞が関寄席」

(金原亭馬生さん、金原亭小馬生さん、金原亭駒与志さん)

- ・ 8月30日開催「チャリティー霞が関寄席 金原亭駒与志独演会 ～残暑堪忍の徳～」

(金原亭駒与志さん、佐々木亜希子さん：活動弁士)

- ・ 12月6日開催「十二月霞が関寄席 小馬生・駒与志二人会」

(金原亭小馬生さん、金原亭駒与志さん)

なお、8月30日に開催したチャリティー霞が関寄席の収益の一部は、金原亭駒与志様よりデジタル公民館®活動支援事業にご寄付をいただきました。改めてお礼申し上げます。

霞が関寄席	開催日	会場 参加者	ライブ 参加者	内訳 メンバー	内訳 Web会員	内訳 一般	動画 視聴者数	合計
五月寄席	2024/5/17	100	31	35	61	35	128	259
チャリティー	2024/8/30	100	34	41	68	25	137	271
十二月寄席	2024/12/6	96	33	43	58	28	83	212
	合計	296	98	119	187	88	313	707

(3) 必ず来る災害に備えるレジリエンスを鍛える

- 1 レジリエンス向上プログラムの企画・開発

MOU締結団体である株式会社タフ・ジャパン代表の鎌田修広さんにご協力いただき、ユニークなレジリエンスプログラムを企画、開発しています。

令和6年度は新シリーズとして[変化と向き合う心と体～1行日記で生活習慣を見直そう～](#)を2回開催しました。健

康の3本柱と言われる「休養・運動・栄養」について考え、自身の生活習慣を見直すことを目的とし、参加者のみなさんと共に3か月1行日記にチャレンジするプログラムです。

第1回は9月6日にワークショップを開催し、参加者数は9名でした。その後、毎週1回、鎌田講師の応援メッセージメールを送信、月に1回は参加者の入力内容に対して講師からの個別のメッセージを入力していただきました。参加者は記入シートを互いに閲覧することができます。11月8日には中間ふりかえり会をハイブリッド形式で開催、12月13日にふりかえり報告会を同様にハイブリッド形式で開催しました。



また、第2回は令和7年1月31日にワークショップを開催し、参加者数は8名でした。2月28日に中間ふりかえり会をハイブリッド形式で開催、4月25日にふりかえり報告会を同様にハイブリッド形式で開催しました。

変化と向き合う心と体	開催日	会場参加者	内訳メンバー	内訳Web会員	動画視聴者数	合計
第1回	2024/9/6	9	5	4	-	9
第2回	2025/1/31	8	3	5	66	74
合計		17	8	9	66	83

- 2 大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定

AVCCは千代田区と「大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定」（平成27年(2015年)2月）を締結し、発災時には帰宅困難者等を一時的に「エキスパート倶楽部」と「スタジオ」に受け入れます。

令和6年度は、千代田区の防災無線訓練の実施（月1回）に加え、9月に備蓄品の点検等を行いました。また、令和7年2月には令和7年3月から東京都の「帰宅困難者対策オペレーションシステム」（キタコンDX）の正式運用が開始されることを踏まえ、「キタコンDXの操作訓練」に参加しました。

- 3 霞が関三丁目町内会

KK²は企業町内会「霞が関三丁目町会」に加入し、千代田区霞が関のデジタル公民館®として、町会の企業・組織の従業員の方たちの交流の場づくりに協力しています。令和6年度は、6月7日に6年ぶりに開催された日枝神社山王祭神幸祭への参加、そのほか観桜会、観楓会、新年祭への参加を行いました。

（4）バリアフリーコミュニケーションの推進

「バリアフリーコミュニケーション」とは、さまざまな障壁（言語的、社会的、物理的な障壁など）を取り除くことを目的としたコミュニケーションの考え方です。KK²は、障がいのある方たちはもちろん、誰もがお互いに尊重し合い共生できる社会を目指して活動しています。

- 1 「障がい当事者が語る！コミュニケーションのバリアフリー」の活用促進

KK²は令和5年度に、ANAグループの特例子会社（航空業界初）であるANAウィングフェロー

ズ・ヴィ王子株式会社様のご協力いただき、『[障がい当事者が語る！コミュニケーションのバリアフリー](#)』を開発制作し、全17本の「動画」と「理解度確認テスト」を無償公開しています。

この講座は、障がいとは何かを理解し、障がい者の方とのコミュニケーションについて学ぶプログラムです。肢体不自由、視覚障がい、聴覚障がい、内部障がい、精神障がい、発達障がい、知的障がい、加齢に伴う障がいを取り巻く状況を把握し、障がい当事者が講師となって解説するこれまでにないプログラムです。社内での意識改革研修などにもご活用いただいています。

令和6年度は、障がい者雇用にお困りの事業者様など、必要な方に届くように、ターゲットを絞ったDMを送付し個別にPRするなど、活用の拡大に向けた取り組みを行いました。

また、本講座を活用してANAウィングフェローズ・ヴィ王子様が「ユニバーサルスタンダード検定」を開発されました（詳細はP9を参照）。

- 2 多様な方たちの働く場 [交流カフェ「エキスパート倶楽部」](#)運営

エキスパート倶楽部の一般営業（ランチ・カフェ業務）は、障害のある方達の働く拠点の一つとして社会福祉法人むそう様に運営協力をしていただいています。令和6年度は5,355名にご利用いただきました。

（5）KK²事業運営

- 1 KK²レンタルスペース事業の推進

① [オンラインイベント支援事業](#)（オンラインコンシェルジュ）

KK²オンラインイベント支援事業は、ご利用者の目的やニーズに合わせた最適なサービスを総合的に提供し、Advanced Valuable Communication の実現を目指しています。

KK²のレンタルスペース「スタジオ」「ラウンジ」「エキスパート倶楽部」では、オンラインサービスを組み合わせて、講演・研修・セミナー・委員会・会議等を「ハイブリッド（オンラインとリアル）」で実施できる設備を用意しています。当日の貸出・運用・収録だけでなく、申込受付や決済代行から終了後の収録動画アーカイブ公開までトータルなサービスを提供しています。令和6年度は、海外からのオンライン登壇者と会場の登壇者のパネルディスカッションなど、スタジオ設備を活かした配信イベントに多数ご利用いただきました。

ご利用事例： **ハイブリッド型研修** ＊会場・Zoom同時通訳音声配信あり
【申込決済ページ提供・会場利用・ライブ配信・オンデマンド】

会場 約50名 Zoomウェビナー視聴者約300名

準備
有料・無料セミナー申込ページ作成(クレジット決済機能あり)
当日用Zoomウェビナー作成(同時通訳機能あり)、
申込者データ管理、会場設営、

当日
講演会場、Web会議操作補助、
収録オペレーション

事後
動画編集、オンデマンドページ作成（有料視聴環境）



令和6年度も、KK²オンラインイベントコンシェルジュによる最適なサービスのご提案、ご利用者の業務負荷軽減を含めた支援を行いました。スタジオ168回、ラウンジ239回、エキスパート倶楽部11回の貸出を行い、6,362名にご利用をいただきました。

	スタジオ		ラウンジ		倶楽部		利用者 合計
	利用者	貸出回数	利用者	貸出回数	利用者	貸出回数	
R6年度	4,158	168	1,938	239	266	11	6,362

②CuBookGallery～シェア型ギャラリー～運営（エキスパート倶楽部 併設）

令和5年度に棚貸し本屋・アートギャラリーとして、交流カフェ「エキスパート倶楽部」内に「CuBookGallery」を開設しました。書店の空白地帯の霞が関三丁目に新しいビジネスモデル「棚貸し本屋」を開設し、多様な方々の情報の発信・交流の場を目指しています。

令和6年度は、2名の方に棚貸しを利用していただきました。また古書の販売もはじめました。



- 2 ステークホルダーとの連携強化

① 霞が関7号館PFI株式会社との事業連携

KK²が入居する霞が関コモンゲートを運営する霞が関7号館PFI株式会社は、令和4年12月に出資者に変更になり、東京建物株式会社が代表者を務めています。KK²事業の報告について霞が関7号館PFI株式会社を経由して文部科学省に提出を行っています。また、事業報告の説明と意見交換や相互の事業連携について検討する場を年2回設けており、文部科学省、東京建物株式会社にご参加いただいています。令和6年度も令和6年7月、12月に開催しました。

② メッセージfromKK²（メールマガジン） 発行

KK²Web会員向けにメールマガジンを定期配信しています（毎週金曜日）。多様な分野の方々にメッセージを寄稿していただき、KK²Webサイトに[バックナンバーを掲載](#)、また公式YouTubeでAI読み上げ動画（[YouTubeへのリンク](#)）を掲載し、視覚障害の方にもご活用いただけるよう音声情報での発信をしています。

令和6年度は、AVCC理事長の久保田了司、理事の伊庭野基明、古賀伸明、平田英世、秋田義一、田中純一、野田弘子のほか、KK²のレジリエンスプログラム講師 鎌田修広さん、臨済宗妙心寺派 恵日山開眼寺住職の柴田文啓さんに寄稿いただきました。52回配信し購読者数は18,960名（令和7年3月31日時点）、平均開封率は31.21%でした。

令和6年度発行 メッセージfromKK² 一覧

配信日	発行	タイトル	担当 ※敬称略
2025/3/28	883	地下鉄サリン事件から30年	古賀 伸明
2025/3/21	882	キタコンDXへの期待と懸念	田中純一
2025/3/14	881	日本が今のアメリカから学ぶべきことは多い	伊庭野
2025/3/7	880	デジタル・バリアフリーの実現	久保田
2025/2/28	879	問われている人権対応への姿勢	古賀 伸明
2025/2/21	878	備えあれば憂いなし！「断捨離」で防災力を高めよう	秋田 義一
2025/2/14	877	アメリカ社会、どうなる「DEIの今後」	伊庭野
2025/2/7	876	オスカー像を夢見た男	久保田
2025/1/31	875	『働く（人生のあゆみ）』ということ	柴田 文啓
2025/1/24	874	今年2025年は過去と未来をつなぐ重要な年	古賀 伸明
2025/1/17	873	CO2削減に真剣に取り組む企業はお金も借りやすい！？	野田 弘子
2025/1/10	872	「Society 5.0の実現」を掲げる2025年大阪・関西万博	伊庭野
2025/1/3	871	お天道様は見ている	久保田
2024/12/27	870	バーソン・オブ・ザ・イヤー	古賀 伸明
2024/12/20	869	変革の難しさ	平田英世
2024/12/13	868	Digital & Diversity（デジタルと多様性）－これからの社会を「どう生きるか」－	伊庭野
2024/12/6	867	江戸の文化を継承しレジリエントな社会を目指す	久保田
2024/11/29	866	現在55歳！来年は「鎌田」から「鎌田ママ」になりまへす♥	鎌田 修広
2024/11/22	865	重さを増す1票という国民の権利と義務	古賀 伸明
2024/11/15	864	ことばが社会にもたらす影響を考える	秋田 義一
2024/11/8	863	人生100年とAI時代、日本人のキャリアデザインを考える	伊庭野
2024/11/1	862	住民総出で紡ぐ地域とレジリエンス	久保田
2024/10/25	861	投票日は明後日 必ず投票に行こう！	古賀 伸明
2024/10/18	860	ESG 具体的には企業は一体何に取組まなくてはならないのか？	野田 弘子
2024/10/11	859	デジタル時代の「人間拡張」をどう考えるか？	伊庭野
2024/10/4	858	大谷翔平選手の「54・59」に学ぶ	久保田
2024/9/27	857	“異常”気象でなく“新しい日常”	古賀 伸明
2024/9/20	856	まっさき活動から繋がるご縁－デジタルとリアル－	田中純一
2024/9/13	855	エキスパートの行動を観察し、真似る ～しごと力とコンピテンシー	伊庭野
2024/9/6	854	様々な「50・50」が問われる2024年9月	久保田
2024/8/30	853	現代社会と宗教	柴田 文啓
2024/8/23	852	複合的で単純でない株価の乱高下	古賀 伸明
2024/8/16	851	ハザードマップを確認しておこう	秋田 義一
2024/8/9	850	変化する市場とキャリアカウンセリング －KK2キャリア関連プログラム－	伊庭野
2024/8/2	849	デジタル弱者の愚痴－デジタル社会への警鐘－	久保田
2024/7/26	848	「選挙イヤー」の中での米国大統領選挙	古賀 伸明
2024/7/19	847	ESGをご存じですか？	野田 弘子
2024/7/12	846	人は「フレキシビリティ」で救われる －レジリエンス研究の現在地－	伊庭野
2024/7/5	845	お天道様は見えています	久保田
2024/6/28	844	新緑の熊野古道を歩く	古賀 伸明
2024/6/21	843	生成AIはSEを超えられるか？	平田英世
2024/6/14	842	変わる日本の就職マーケット	伊庭野
2024/6/7	841	今、「保育防災」が全国で沸騰中！！	鎌田 修広
2024/5/31	840	「デジタルパンデミック」とどう向き合うか	久保田
2024/5/24	839	・・・情熱と判断力を駆使しながら・・・	古賀伸明
2024/5/17	838	デジタルコミュニケーションの要（かなめ） 文章力を磨こう	秋田 義一
2024/5/10	837	レジリエンスを築く10の方法	伊庭野
2024/5/3	836	どうする？これからの日本と日本人	久保田
2024/4/26	835	プギウギ	古賀伸明
2024/4/19	834	そもそもコーポレートガバナンスとは？	野田 弘子
2024/4/12	833	けせん（気仙）に学ぶ日本人のレジリエンス	久保田
2024/4/5	832	私の50年間のリスクリング	伊庭野

③文部科学省発行「マナビィ・メールマガジン」定期掲載

文部科学省総合教育政策局地域学習推進課が発行する「[マナビィ・メールマガジン](#)」（毎月2回/8日、24日発行）は、生涯学習・社会教育に関わる行政関係者、事業関係者等と情報の共有化や意見交換などを促進するために、文部科学省関連のイベント情報やお知らせ等を配信しています。令和2年度より、KK²事業の紹介を掲載していただいています。

令和6年度も21回掲載していただきました。そのうち「読まれた記事ランキング」3位以内にランクインしたのは15回となっており、読者の方の学びの場としてご活用いただいています。

令和6年度マナビィ・メルマガ寄稿タイトル一覧

配信日	掲載号	KK ² 記事タイトル
2024/04/08	307号	しごと力を高めるビジネスコミュニケーション「7つの極意」
2024/04/24	308号	3.11東日本大震災被災地「けせん（気仙）」に学ぶ 自然災害と向き合う人と人の絆の【実体験アーカイブ】
2024/05/08		休刊
2024/05/24	309号	ライブ配信視聴 申込受付中 6月28日開催「どうする？これからの日本と日本人」
2024/06/08	310号	基礎から学ぶ 仕事に活かすインターネット ～今さら聞けない！？インターネットの基礎を学ぼう～
2024/06/24	311号	みんなちがってすてきだね～自閉症の理解 はじめの一步～
2024/07/08	312号	オンライン受講受付中 「Python ビジネス講座～ワードクラウドでデータ分析～」
2024/07/24	313号	「どうする？これからの日本と日本人」片山 善博さん
2024/08/08	314号	文章で人の心を動かすための「5つの基本」
2024/08/24	315号	「ビジネスパーソンのための情報セキュリティ基礎講座」 ～デジタルリスクからあなたと組織を守るために～
2024/09/08	316号	外出時に地震が発生したら？「帰宅困難者問題を考える」
2024/09/24	317号	論理的な文章の書き方 ～実用的な文章作成スキルを学ぼう～
2024/10/08	318号	しごと力を高めるビジネスコミュニケーション7つの極意

2024/10/24	319号	現場でリーダーシップを発揮するために必要な10項目
2024/11/08	320号	「野菜を伝える、野菜で伝える ～田畑は人も育つ場所～」
2024/11/24	321号	長寿社会を生きる
2024/12/08	322号	やねだん故郷創世塾「デジタル社会のリスク」
2024/12/24	323号	「Python（パイソン）基礎講座」 ～未経験からはじめるプログラミングの第一歩～
2024/01/08	324号	「50代のあなたへ 動画で学ぶ「健康・お金・介護 , etc.」 人生2 周目、どうデザインする？
2025/01/24	325号	会議の能率アップ -しごと力を高めるファシリテーションの極意-
2025/02/08	326号	全盲のソプラノ歌手として輝き続ける塩谷靖子さん
2025/02/24	327号	情報的健康について－アテンション・エコノミーにどう向き合うか －慶應義塾大学大学院教授 山本龍彦さんに聞く
2025/03/08	328号	変化と向き合う心と体～健康の3本柱を支える「心柱」とは～
2025/03/24	329号	「しごとのにほんご」（外国の方向け）～仕事や生活に最低限必要 な日本語を見て、聞いて、まると覚える～

④デジタル社会への情報発信

KK²Web会員の方々だけでなく、幅広い方々にKK²事業をお知らせすることを目的として、各種SNSで情報発信を行っています。運用にあたっては「[ソーシャルメディアポリシー](#)」に即して行っています。

令和6年度も以下のSNSでKK²事業の発信を行いました。

公式Facebook	https://www.facebook.com/KK2kasumigaseki/
公式X	https://x.com/KK2Kasumigaseki
公式Instagram	https://www.instagram.com/kk2kasumigaseki/
公式YouTubeチャンネル	https://www.youtube.com/@KK2

- 3 KK²自主企画プログラムと延べ参加者数

令和6年度は、デジタル公民館@サイクルで提供しているDPP、LMS、LSSのご利用を含め、自主企画開催プログラム等合計512件実施しました。延べ参加者数は、KK²会場での参加が合計425名、オンラインでの参加が335名でした。また、動画視聴及びWebでのサービスを利用した方は35,017名、合計35,777名の方に学びの場を提供いたしました。

R6年度 プログラム 内容	実施回数 および コンテンツ数	会場 参加者	オンライン 参加者	属性内訳			動画視聴者数/ Web実施者	合計
				メンバー	Web会員	一般		
「デジタル公民館@サイクル」の実現に向けて								
KK ² デジタルプレゼンテーションプラットフォーム (DPP)	338						28,000	28,000
KK ² ラーニングマネジメントシステム (LMS)	32						1,544	1,544
KK ² ラーニングサポートシステム (LSS)	3						2,681	2,681
やねだん故郷創世塾	2		50		50		191	241
デジタル社会のしごと力を学ぶプログラム								
Python基礎講座	14						73	73
PythonIoT応用講座	21						3	3
Pythonビジネス講座	3						29	29
デジタル活用力チェック (DKC)	5						347	347
デジタルしごと力チェック (DSC)	3						105	105
デジタル社会に求められるしごと力を考え・学ぶ場								
デジタルTERA小屋～エキスパートと学ぶ～	1	16	49	44	21		151	216
KK ² キャリア相談室	5	2	6	0	8			8
しごと力向上ライブラリ	13						1,011	1,011
コンピテンシー・チェック	63						20	20
霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～	3	44		15	29		274	318
霞が関寄席	3	296	98	119	187	88	313	707
必ず来る災害に備えるレジリエンスを鍛える								
変化と向き合う心と体～1行日記で生活習慣を見直そう～	2	17		8	9		66	83
KK ² 事業運営								
AVCC & KK ² 事業説明会	1	50	132	76	106		209	391
合 計	512	425	335	262	410	88	35,017	35,777

- 4 Web運用支援

Webサイトでの情報発信や運営について支援を行っています。令和6年度も継続して行いました。

- ・一般財団法人警察大学校校友会様 ホームページ運用業務
- ・全国重症心身障害児(者)を守る会様 Webサイト運用業務

お客様によるWebサイト更新作業の支援、サーバ管理、問い合わせ対応等

-5 KK²協賛メンバーおよびWeb会員

① [KK²協賛メンバー](#)

令和6年度（令和7年3月31日時点）の協賛メンバー数は27団体です。

（新規入会 1 団体、退会 4 団体）

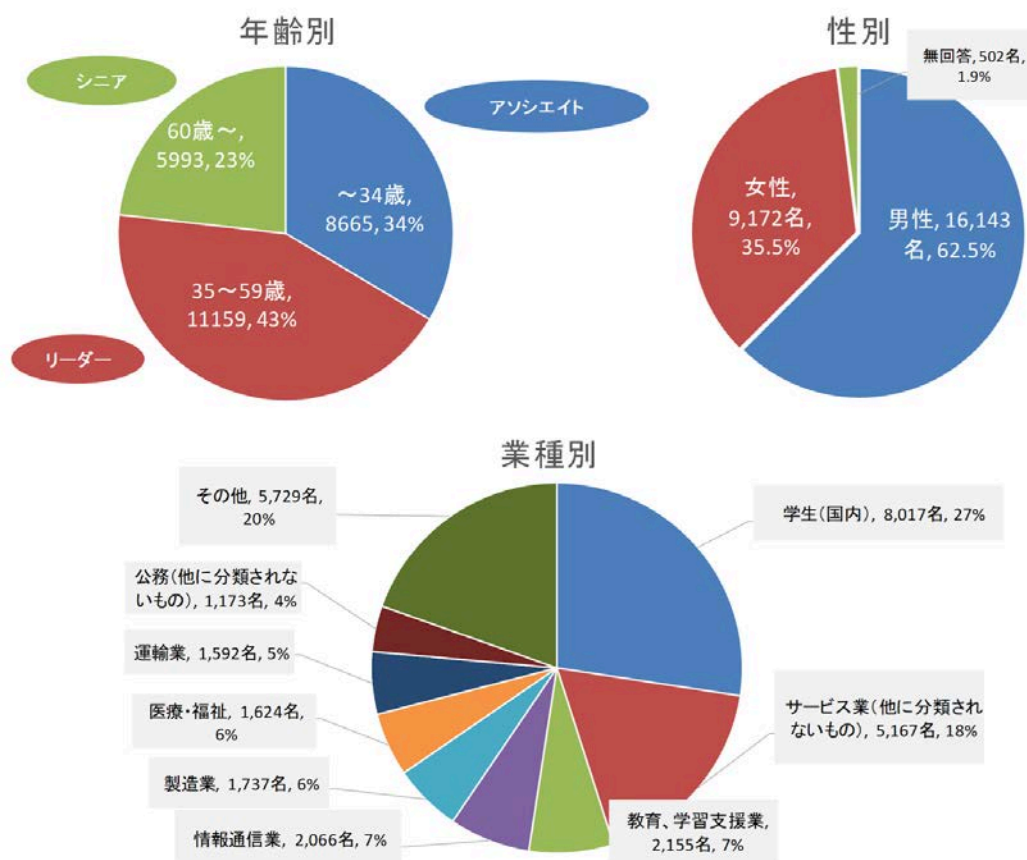
合計	民間企業・各種団体	NPO法人	大学・専門学校
27	23	2	2

メンバー種別

メンバー種別	メンバーの種類	年会費（税込）
協賛メンバー	民間企業・各種団体	一口132,000円/年、一口以上
	NPO法人	一口66,000円/年、一口以上
	大学・専門学校	一口66,000円/年、一口以上
Web会員		無料（登録制）

② Web会員数

令和6年度のKK²Web会員登録者数は29,260名です。令和5年度は25,817名となっており、3,443名の増加となりました。年代ではアソシエイト（～34歳）が34%、リーダー（35歳～59歳）が43%、シニア（60歳～）が23%となっています。学生、サービス業、教育・学習支援業、情報通信業、製造業、医療・福祉、運輸業、公務等、多様な職種の方々にKK²学んでいただいています。業種別では学生が27%と最も高くなっています。大学の講義でDPPを活用いただいていることが一因となっています。



令和6年度 Web会員属性 (29,260名)

Ⅱ イノベーション企画部

AVCCでは、引き続き自治体を主体として、各種防災行政無線の更新や災害対策本部の機能強化のための防災情報システムの導入支援に係る調査・設計・施工監理業務の他、情報セキュリティ教育や監査業務等を行って来ました。

また、令和6年度からは新たに「防災対策支援業務」として、自治体の地域防災計画策定支援や災害時の行動計画作成支援、防災研修や訓練の企画運営業務を実施しています。

(事業紹介URL) <https://www.avcc.or.jp/business/disaster-prevention-support/>

これにより、AVCCでは各種防災に係る計画策定から、計画に基づく各種防災に係るシステムの設計、施工監理、教育・訓練に至るまで「防災情報化支援トータルコンサルタント」としてサービスの提供を行えることとなり、防災対策支援業務を受注いたしました。

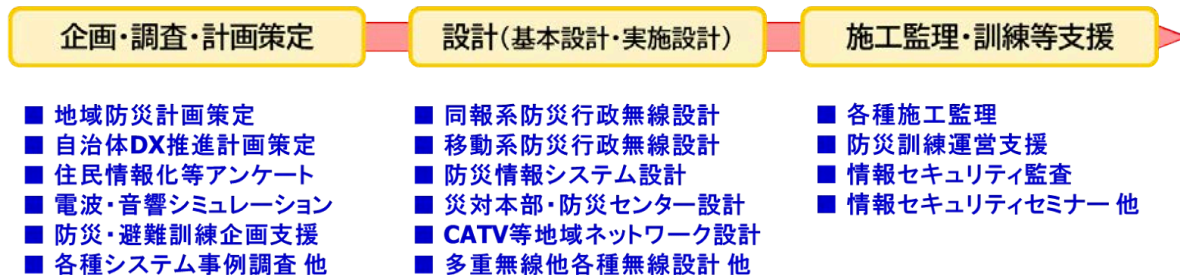
また、地方の営業拠点としては、四国事業所を「中国・四国事業所」として増員し、より広範囲に活動できるようにし、こちらも中国地方での受注に繋がっております。その他にも今まで手薄になっていた東北地方に対し、東北事業所を令和6年12月に開所し、令和7年度の受注に向けた営業活動を推進しております。

AVCCでは、全国の自治体の防災を中心としたデジタル化やDX化の推進を支援するとともに、超高齢化社会を迎えた日本において、デジタル社会から取り残される人が無いよう「誰も取り残さないデジタル化」の推進も事業として掲げております。高齢者や日常生活に支援を必要とする方々に寄り添い「デジタル・バリアフリー」なサービスを目指し、提供機能の開発と共に自治体や施設等へのPoC（実証実験）を進めております。

（１）防災情報化支援トータルコンサルタント事業

前述の通り、令和6年度から「防災対策支援業務」を行うようになったため、それまでの「防災情報システムトータルコンサルタント」から、「防災情報化支援トータルコンサルタント」として、自治体の防災計画の立案から災害時運用の訓練支援を含めた防災業務全般において支援を行えるようになりました。

調査・計画策定から設計・施工管理までを、一貫して支援



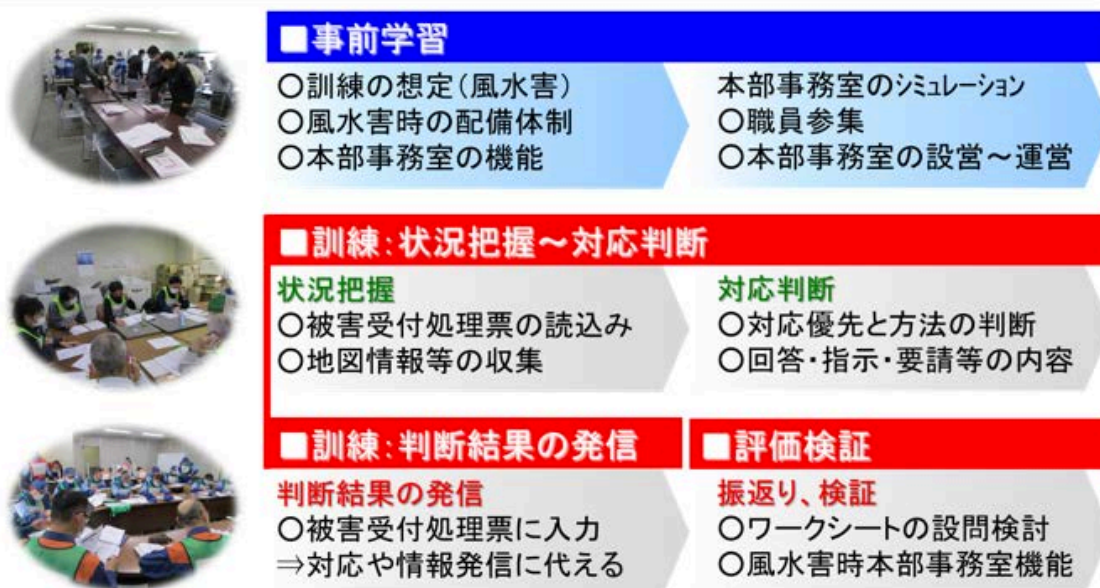
(出典：AVCC営業資料)

- 1 防災対策支援業務（企画・調査・計画策定・訓練等支援）

令和6年度より、自治体の広範囲な防災対策を対象とした地域防災計画・行動マニュアルの整備、防災力の向上を図るための防災訓練・研修、各種防災イベントの企画・実施に総合的に対応した防災対策支援業務を実施します。

「被災地の教訓を未災地につなぐ」をコンセプトに、経験豊富な防災アドバイザーとともに現場重視の継続的な自治体の防災対策を支援します。

訓練の構成



(出典：AVCCHP)

令和6年度においては、東京都港区を皮切りに6件の防災対策支援業務を行っています。

港区では、令和5年度に災害時の情報収集システムである防災情報システムを更新するなど、災害対策本部のデジタル化を進めていました。令和6年度においては、災害対策本部の在り方について抜本的に見直し、新防災情報システムの運用を含めた災害発生時における情報の流れと災害対策本部事務局の体制や執務室のレイアウトの見直し、発災直後の対応を詳細に示したアクションカードの作成を支援しました。合わせて区職員の防災力を向上させるため、毎年実施する防災訓練に関して、専門的な見識から訓練の企画から運営、振り返りに対する支援を実施しました。

<令和6年度 防災対策支援業務実績>

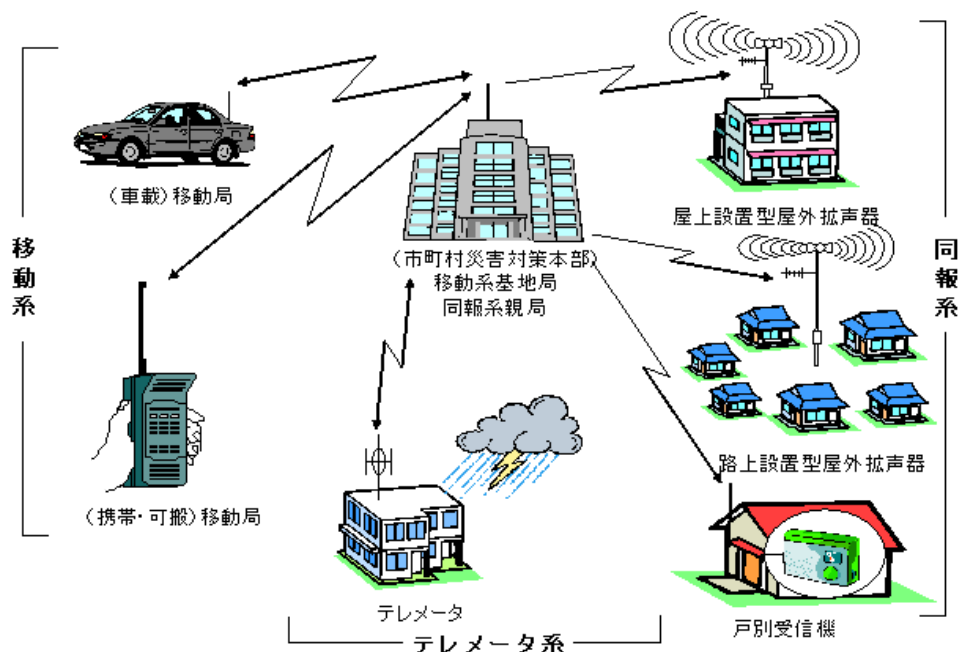
- ・港区災害対策本部の体制見直し支援業務委託
- ・文京区事業継続計画改定支援業務委託
- ・葛飾区災害拠点病院事業継続計画（BCP）風水害版検証訓練支援委託
- ・三芳町地域防災計画・業務継続計画改訂業務委託
- ・葛飾区医療救護訓練支援委託
- ・埼玉県災害時要配慮者避難体制整備サポート事業業務委託

-2 防災用無線システム整備支援業務（設計・施工監理）

AVCCでは、同報系防災行政無線システムを中心とした防災無線システムの整備支援を数多く行って来ました。近年、その整備推進の後ろ盾として総務省消防庁が行う「緊急防災・減災事業債（事業費の7割を補助）」がありましたが、令和7年で終了するため、その駆け込み需要が発生し、設計・施工監理業務の受注に繋がっています。

また、MCA無線サービス（タクシーや運送会社等が利用する民間の無線サービス網）が、4年後の令和11(2029)年にサービス提供を中止することを発表しています。AVCCでは、同サービスを利用している約30の地方自治体に対してシステム移行に向けたニーズ調査を進めています。令和6年度では、埼玉県加須市においてMCAサービス終了に伴う、他の同報系システムやサービスへの移行に向けた調査検討業務を受注しています。

「同報系防災行政無線システム構成イメージ図」



(出典：総務省ホームページ)

<令和6年度 設計業務受注実績>

- ・浜田市次期防災情報システム整備事業実施設計
- ・鹿追町防災行政無線施設整備工事プロポーザル支援業務
- ・和泊町防災行政無線更新工事実施設計業務委託
- ・みやこ町防災行政無線（豊津地区）再整備事業実施設計業務
- ・知名町防災行政無線戸別受信機整備事業実施設計業務委託
- ・指宿市防災行政無線再整備事業調査・計画策定等業務委託
- ・上砂川町防災行政無線整備事業実施設計業務委託
- ・上市町防災行政無線同報系システム実施設計業務
- ・練馬区移動無線システム再整備実施設計等業務委託

<令和6年度 施工監理業務受注実績>

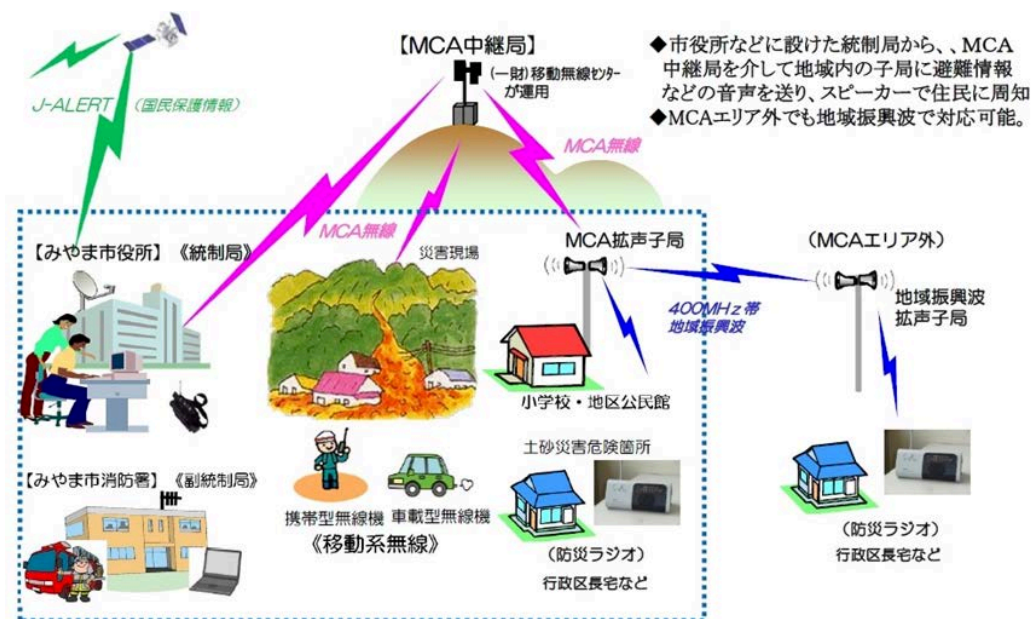
- ・府中市防災行委無線固定系整備工事に伴う工事監理委託（継続業務）
- ・八丈町防災行政無線デジタル化工事監理業務委託
- ・阿南町防災行政無線（同報系）デジタル化事業監理業務委託
- ・上天草市防災行政無線（同報系）整備工事施工監理業務委託
- ・波佐見町防災行政無線再整備工事監理業務
- ・むつ市情報伝達手段整備事業に係わる施工監理業務委託

- ・周防大島町防災行政無線（同報系）第2期再整備工事監理業務
- ・龍郷町防災行政無線整備工事監理業務委託
- ・松野町防災行政無線等伝達設備更新工事監理業務（継続業務）
- ・いちき串木野市防災行政無線再整備事業監理業務委託
- ・国分寺市新庁舎建設に伴う防災行政無線等整備工事に伴う工事監理業務委託
- ・みやこ町防災行政無線（犀川地区）再整備工事施工監理業務委託
- ・川崎市下沼部公園ほか4か所同報系屋外受信機設備設置工事監理業務委託
- ・三島市防災行政無線（同報系）デジタル化再整備工事施工監理業務委託（継続業務）
- ・墨田区防災行政無線（同報系）子局追加整備工事監理業務
- ・美郷町防災行政無線（同報系）再整備工事監理業務委託
- ・鹿追町防災行政無線施設整備工事施工管理委託業務（継続業務）

<令和6年度 MCA終了に伴う調査検討業務受注実績>

- ・加須市新たな災害時情報伝達手段の整備方式検討業務

「MCAサービスを利用した同報系防災情報システム構成例」



（出典：（一財）移動無線センター（MCAサービス提供事業者））

- 3 防災情報システム等導入支援業務（設計・業者選定支援・施工監理）

AVCCでは、災害時に様々な情報を収集し、関係各所での情報共有や連携、そして住民への速やかな情報配信を行うための「防災情報システム」及び周辺システムや設備の導入支援業務を

行っています。

一刻を争う状況下では、情報を取り扱う組織や団体だけでなく、そこで運用するシステムを超えたシームレスな情報連携が必要になります。

一例ですが、災害時には以下のようなシステム等から災害等の情報が災対本部に集まります。

例) 「災害時に災害対策本部に集める情報システム等」

No	システム等名称	取り扱う情報及び機能等概要
①	震度計システム	庁舎内や主要観測ポイントに設置した地震震度計測システム
②	水位計システム	域内の主要河川等に設置する水位をデジタルで計測するシステム
③	気象観測システム	庁舎屋上や百葉箱等に設置され、温湿度、風向／風力／風速、雨量等の情報を収集、表示するシステム
④	河川監視カメラ	自営の他、国交省等が公開する1, 2級河川や水量の多い河川、水門等の状態や水位（計）を表示するカメラ映像
⑤	高所カメラ	庁舎や域内高所施設等に設置した自営カメラ映像
⑥	J-ALERT	弾道ミサイル情報の他、津波警報や大雨警報、緊急地震速報等の情報入手、配信するシステム
⑦	SNS	X (旧twitter) /facebook/LINE等からの情報
⑧	画像・映像伝送システム	職員が現場からスマートフォンやタブレット端末を使用し、メールや専用アプリ等から画像や映像を本部へ伝送
⑨	その他	電話やメール、FAX等

これらの集められた情報は、システムの中核となる「防災情報システム」に集約されます。防災情報システムでは、収集した情報を地図やグラフ等を使用し整理し、大型モニタや電子黒板、Web会議システム等を利用し、庁内や関係組織と情報共有を行います。

「渋谷区新庁舎防災センター（AVCC設計・施工監理）」



（出典：TOKYO MX取材VTR）

また、住民に対しては、一刻を争う状況を想定し、防災行政無線やホームページ、防災メールやスマートフォンアプリ、SNS等の様々な情報伝達手段を通じて災害情報や避難指示等の情報を提供します。

「災害時等における情報の収集から配信のイメージ図」



（出典：AVCC営業用資料）

AVCCでは、これら情報の収集から共有・連携、配信までの一連の流れを一つのシステムと捉えて設計から業者選定支援、施工監理を行っています。

AVCC賛助会各社の協力もと、AIやドローン等、先進性のあるバリアフリーな防災情報

システムの活用についても提案を行っています。

<令和6年度 防災情報システム等導入支援業務受注実績>

- ・ 足立区防災センター改修に伴う業者選定支援
- ・ 府中市防災情報システム構築支援業務（継続業務）
- ・ 姫路市防災情報システム再整備事業施工監理業務

- 4 消防システム（消防指令台及び無線設備等）更新支援業務（設計・施工監理）

全国の消防本部では、消防救急無線のデジタル化への移行（平成28年度が期限）を契機として、従来のアナログシステムの更新や整備が進み、合わせて消防の広域化・指令業務の共同運用を進めてきました。しかし、当該システムの更新や整備から10年が経過し、新たなシステムへの更新する時期を迎えています。

AVCCでは、令和6年度から7年度に掛け、全国約720ある消防本部のシステム更新支援業務が集中することを見据え、一昨年度より中国・九州地方を中心に設計及び施工監理の実績の積み重ね及びAVCC賛助会各社との情報交換等を進めて来ました。引き続き問合せ含めた案件に対する営業活動を推進致します。

「大隅肝属地区消防組合高機能消防指令センター（AVCC部分設計・施工監理）」



（出典：大隅肝属地区消防組合HP）

<令和6年度 消防システム設計業務受注実績>

- ・ 始良市高機能消防通信システム等工事事業実施設計業務委託
- ・ 高島市消防本部高機能指令センター実施設計業務
- ・ 富山県新川地域消防組合災害時オペレーションシステム実施設計業務

- ・海部消防組合消防本部消防救急デジタル無線更新整備及び消防指令システム整備実施設計業務委託
- ・厚木市消防救急デジタル無線設備更新に係る電波伝搬路調査業務委託
- ・大隅曽於地区消防組合高機能消防通信指令センター及び消防救急デジタル無線設備部分更新に伴う支援業務委託

＜令和 6 年度 消防システム施工監理業務受注実績＞

- ・霧島市高機能消防指令センター設備の部分更新及び福山分遣所設備移設に伴う調達の支援並びに監理業務委託
- ・富山県東部消防組合消防総合管理システム整備事業監理業務（継続業務）
- ・東京消防庁無線装置（基地用無線回線制御装置）外 7 点の買入に係る業務支援委託（継続業務）

- 5 情報セキュリティ関連

AVCCでは以前より地域・社会サービスのデジタル化を支援する事を目的とし、自治体や関連団体・学校向けに個人情報保護、情報セキュリティ監査等の情報セキュリティコンサルティング業務を実施しています。特に住民データや特定個人情報（マイナンバー）等の機密情報の取り扱いには最大限の注意を払う必要があり、団体内で情報セキュリティを維持・管理する仕組みが実態に沿って適切に運用されているか診断を行いました。また、診断だけではなく、情報セキュリティ・個人情報保護に関する研修や職員に対する意識調査等を行い、団体内での意識向上、取組の継続的な支援のための活動を行いました。そのほか、官公庁外郭団体や民間企業に対し、ISMS構築、プライバシーマーク認証取得支援、認証取得後の運用に関する支援を行いました。

診断結果については改善計画を策定・実施していただくことで、自治体の重要資産の取扱いに関する運用実態の向上をもたらしています。令和 6 年度は、主に下記自治体・団体において支援を行いました。

＜令和 6 年度 情報セキュリティに関するコンサルティング受注実績＞

- ・山梨県笛吹市

＜令和 6 年度 個人情報・特定個人情報保護に関するコンサルティング受注実績＞

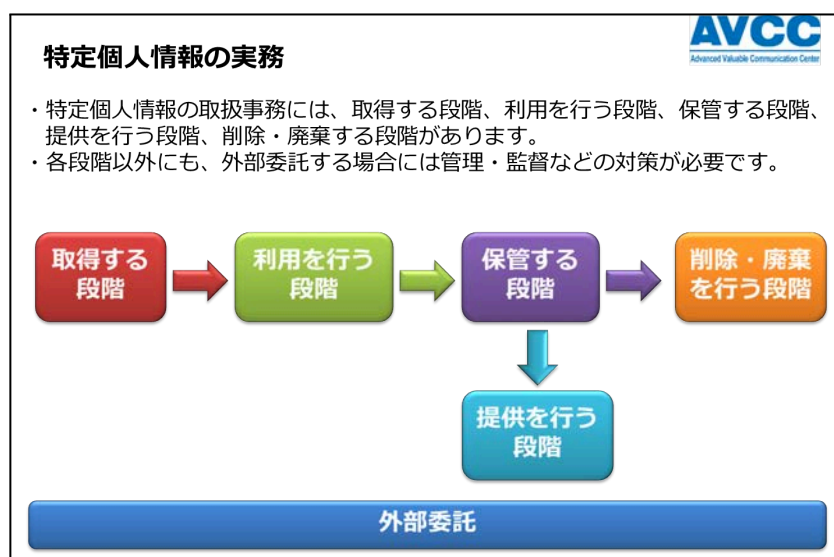
- ・東京都江戸川区
- ・東京都足立区
- ・千葉県いすみ市

<令和6年度 ISMS運用支援受注実績>

- ・青森県国民健康保険団体連合会
- ・長野県国民健康保険団体連合会
- ・山梨県国民健康保険団体連合会

<令和6年度 PMS運用支援受注実績>

- ・民間事業者



(情報セキュリティ・個人情報保護研修テキストより抜粋)

(2) 誰も取り残さないデジタル化推進事業

令和7年度事業計画でも述べましたが、「誰も取り残さないデジタル化」を進めることが「世のためになる仕事」になるとの思いで、株式会社メディアリンクと「寄り添いペンタ」（以下、ペンタという。）サービスの開始に向けた開発とPoC（実証実験）を進めました。

改めて本事業の経緯を説明しますが、前年度（令和6年度）の事業計画では、高齢者や情報弱者向けを想定した情報提供端末「テレボーサイ・サービス」の開始に向けた開発を進めるとしていました。しかし、「テレボーサイ・サービス」の拡張機能として高齢者の安否確認や、健康寿命を延ばすための快適な環境測定が行える機能の検討を進めていたところ、それらを個別の機能としてサービス提供することが可能であり、かつ、比較的安価にPoCに向けた試作機の作成が行えることが明らかになりました。また、「テレボーサイ・サービス」で開発したサーバや通信技術（LTEやWi-Fi通信）が流用可能なことから、ペンタ単体でのPoCに向けた準備を開始することになりました。

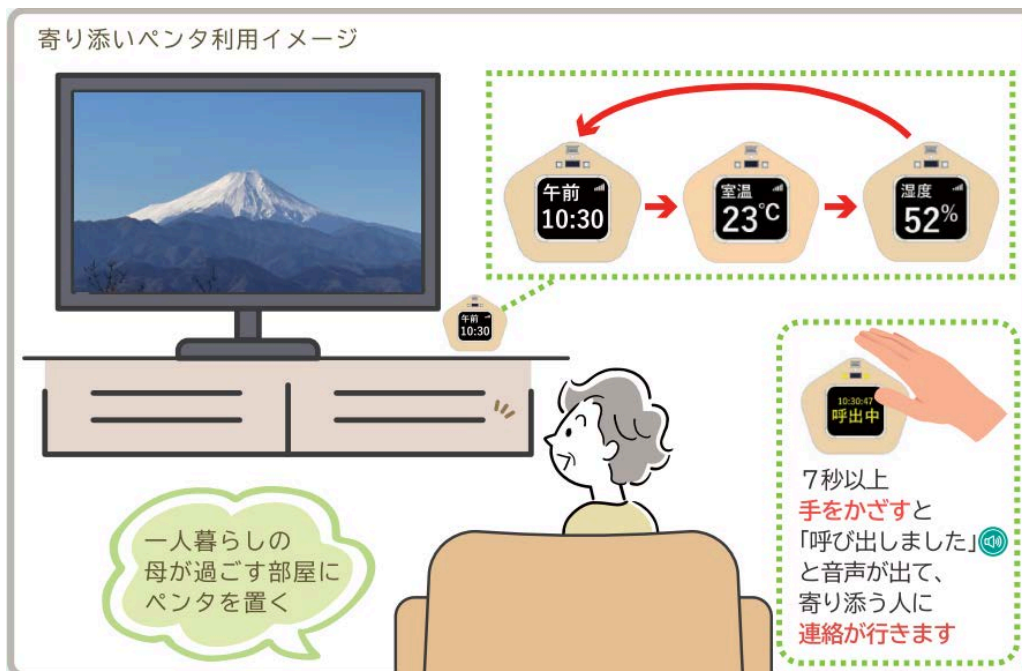


(出典AVCCホームページより)

現在は、見守り者の音声録音機能を追加した約100台のPoC用端末を製造し、AVCC及びメディアリンクの職員をはじめ、協力頂ける介護福祉施設や自治体、個人協力者様のご自宅に設置させて頂き不具合解消、サービス開始に向けた検証を進めております。

今後は、PoCの継続と共に必要な機能や性能等を見極め、サービス開始に向けた準備を進めることとなります。AVCCはサービス提供窓口となるため、サービス提供先の選定と営業活動・サービスの提供方法とその提供価格等を中心に検討を行います。

「寄り添いペンタ利用イメージ図」



- 寄り添いたい人が生活する居室（テレビ横）に を置いてください
- ライフログ（赤外線リモコン・室温・湿度・明るさ・気圧）を 30 分毎に取得します
- 健康寿命を延ばすことを目的とするデジタルライフケアサービスです
- Wi-Fi がなくても LTE（ドコモ・au・ソフトバンク）で繋がります
- 時計（30 秒） - 室温（15 秒） - 湿度（15 秒）を繰り返し ^{*注} 表示します

* 注： に手をかざすと時刻・室温・湿度を音声で読みあげます。

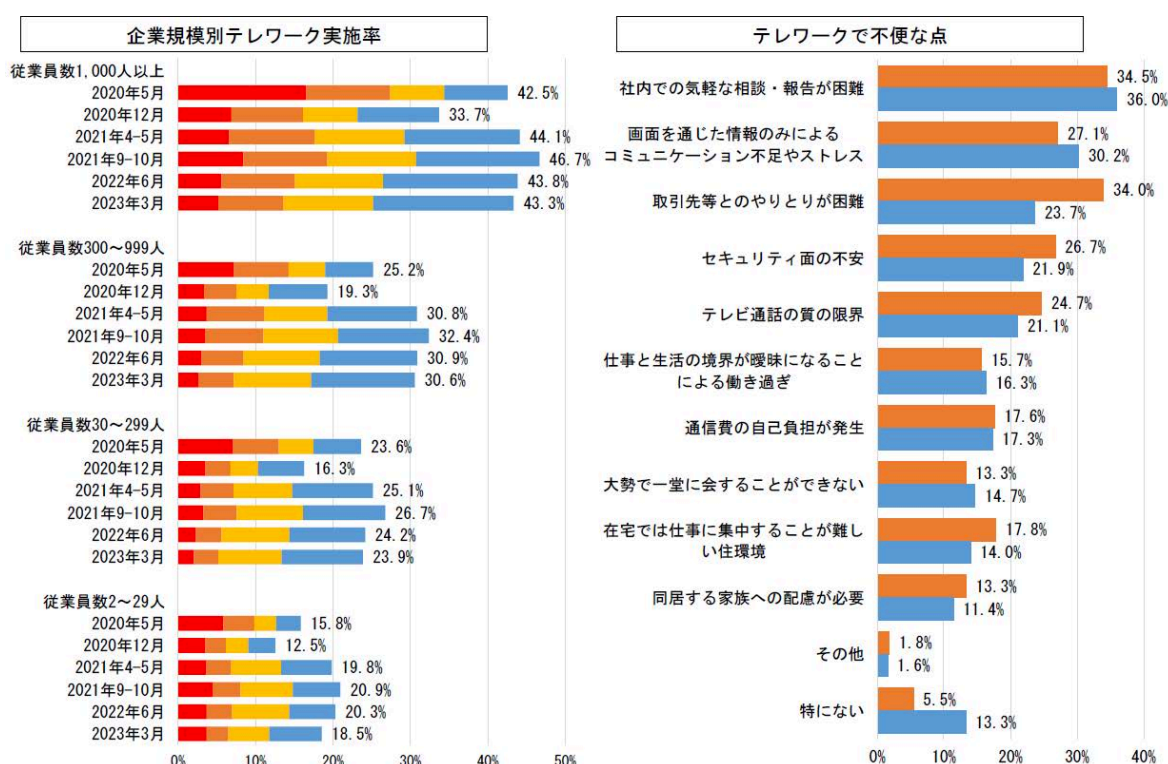
（出典：寄り添いペンタパンフ抜粋）

Ⅲ デジタルイノベーション部

AVCCでは、令和6年度も継続して公共施設、学校、各種企業に対し、デジタル化に向けた設計支援やシステム提案、AVシステムの運用支援・保守・設計・構築を行いました。

（１）法人向けデジタル化支援事業

内閣府がまとめた、「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」によると、令和5年4月時点のテレワーク実施率は従業員1000人以上の企業では43.3%に対し、従業員30人～299人の企業で23.9%、2人～29人の企業に至っては18.5%でした。



【働き方】企業規模別テレワーク実施率、テレワークで不便な点（就業者） 出典：内閣府（2023）

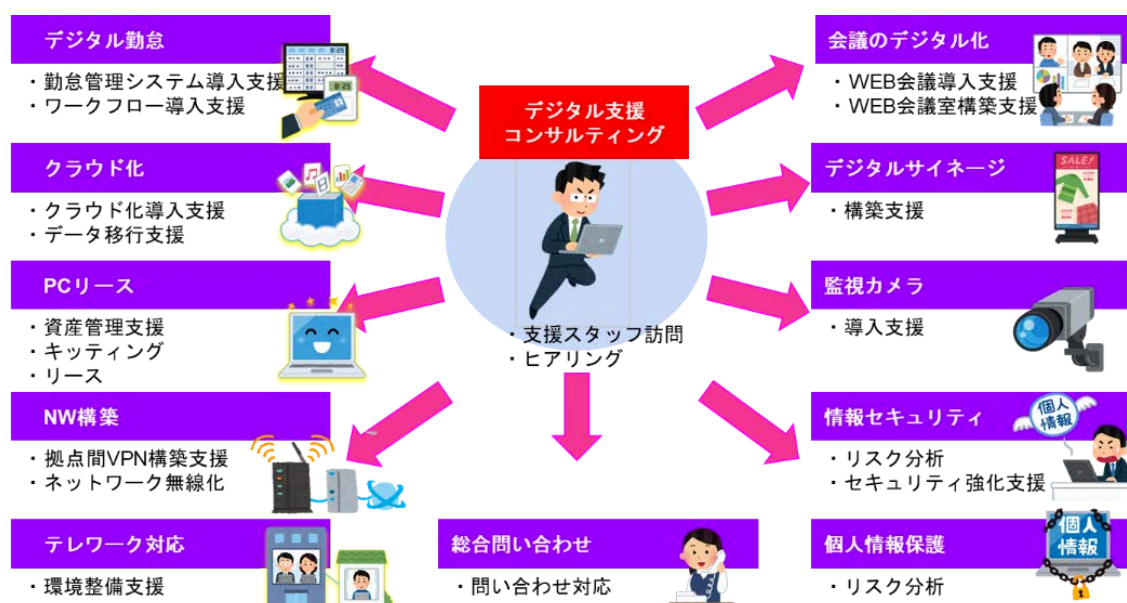
各規模毎に令和3年をピークとしてテレワーク実施率はやや落ち着いた感はあるものの、企業規模により、テレワーク率には依然として大きな開きがあるのが実情で、大企業と中小零細企業とではデジタル化の進みに開きがあります。また、テレワークでは、気軽な相談・報告が困難、画面を通じた情報のみによるコミュニケーション不足やストレスが主だった不便な点としてあげられています。ビジネスでも、人と人とがつながる機会は減少し、社会は「親(したい)」から

「疎(うとい)」に向かっています。デジタル一辺倒では人と人とのつながりが疎になる事もある為、リアル等も活かした仕組みが必要です。

AVCCではAdvanced Valuable Communicationなデジタル社会の実現に向けて、テレワークを始めとしたデジタル化が遅れている中小零細企業が個別に抱える環境や課題に対し、調査・設計・構築業務・運用保守・問い合わせ対応といった、トータルコンサルティングとしての活動を行いました。

法人向けデジタル化支援事業実績

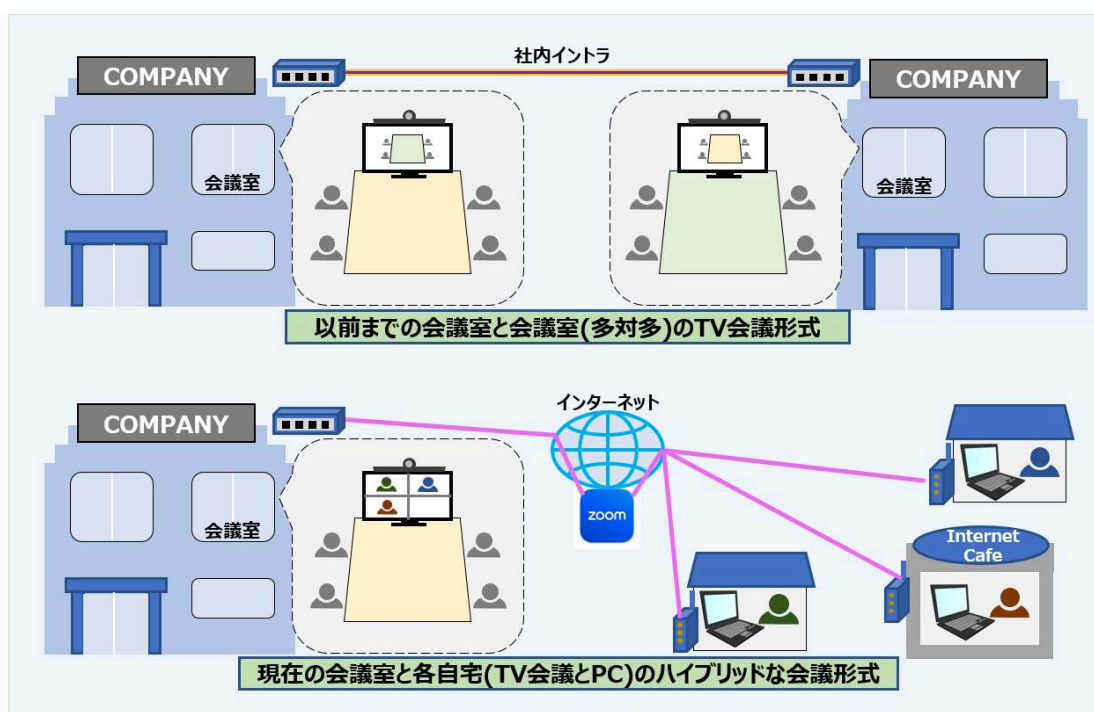
- ・ 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会様 創立60周年記念大会収録DVD作成
- ・ 社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会様 北浦記念館ビデオライブラリー構築



「デジタル支援コンサルティングイメージ」

(2) TV会議システム/Web会議システムの構築、運用、保守管理業務

コロナ禍以降では自宅のPCやスマートフォンで会議に参加するリモート参加が当たり前の世の中になり、会社の会議室と自宅参加者のそれぞれがWeb会議に接続し、リアル集合型とリモート参加型のハイブリッドな会議形式に変容しました。しかしながら、その分会議室側では、AVシステムとWebシステムの考慮が必要となり操作が煩雑化しました。AVCCでは Valuableなコミュニケーションとアクセシビリティなシステムの実現の為、既存の会議室設備を利用したリアル参加会議とリモート参加のハイブリッドなWeb会議やTV会議システムの最適な設計・支援・更改・保守管理業務を行いました。



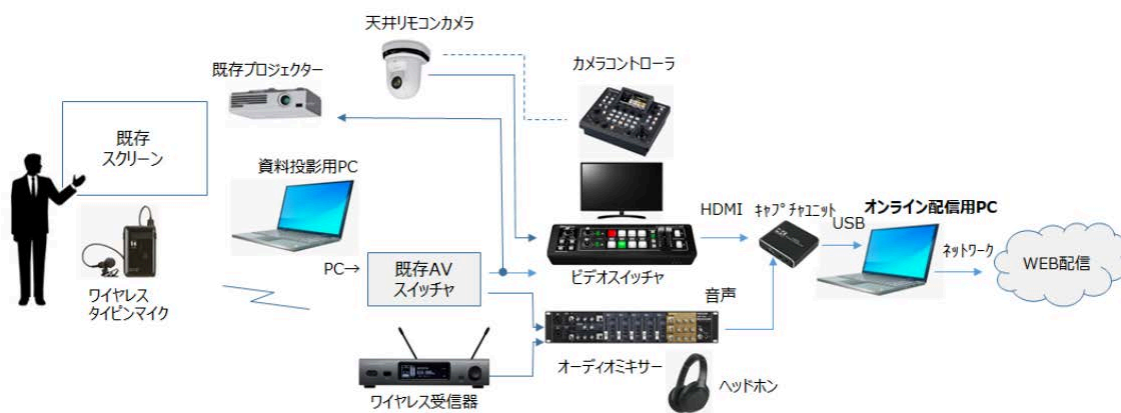
会議形式の変化

① 独立行政法人国際協力機構（JICA）

JICA内に業務従事者を配置し、TV会議システム、Web会議システムの運用業務を令和6年5月末まで実施しました。

（3）映像情報システム運用支援・設計業務（構築、運用、保守管理業務）

公共施設、学校、企業等に設置されている映像情報システムの保守管理業務や運用業務の支援を行います。コロナ禍以降当たり前になりつつある、授業・講演のオンライン配信や双方向映像音声通話に対応する為、Valuableでアクセシビリティなシステムリニューアルの設計・ご提案を行い、Society5.0に則した新たな映像情報システムの構築を行いました。



オンライン配信可能な映像情報システムイメージ

- ① 大手生命保険会社
- ② 千葉県松戸市教育委員会
- ③ (公財) 松戸市文化振興財団
- ④ 学校法人昭和女子大学
- ⑤ 学校法人松本歯科大学
- ⑥ 学校法人愛知大学東京霞が関オフィス
- ⑦ 日本アムウェイ合同会社
- ⑧ 東京美装興業株式会社
- ⑨ 東京ガスネットワーク株式会社
- ⑩ 三機工業株式会社

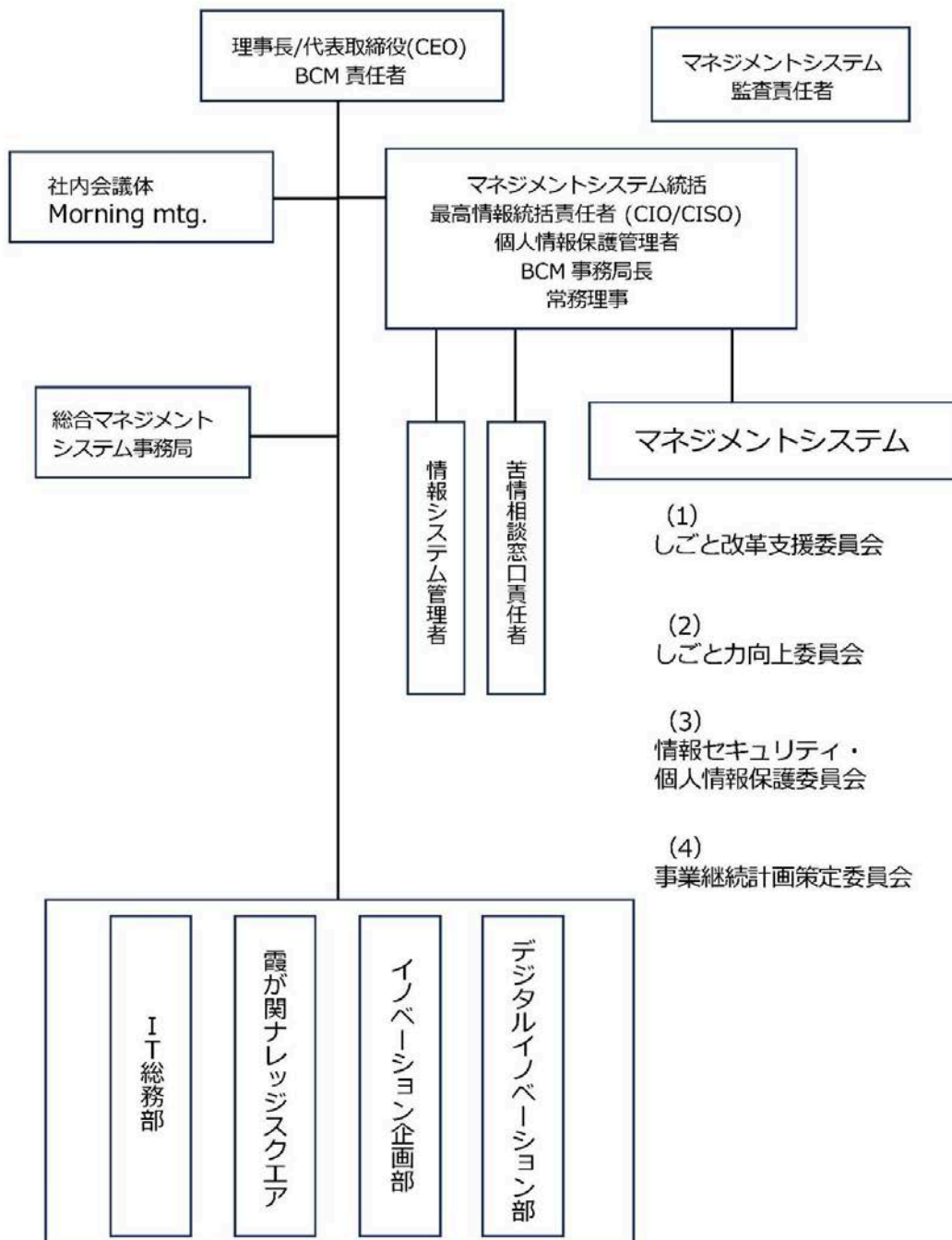
映像情報システム運用支援・設計業務実績

- ・ 東京美装興業株式会社様 オペラシティ貸会議室プロジェクタ更新
- ・ 三機工業株式会社様 大手証券会社みなとみらい増床 AVシステム
- ・ 東京ガスネットワーク株式会社様 導管研修センター研修室モニター更新
- ・ 日本アムウェイ合同会社様 アムウェイプラザ東京ミーティングルームプロジェクタ更新
- ・ 学校法人昭和女子大学様 オーロラホール音響設備改修

IV AVCC組織運営に関する事項

(1) AVCC マネジメントシステム

総合マネジメントシステムの体制



円滑に業務を継続していくためには、組織内の重要資産を適切に管理し、守っていくことが必要です。そのために、総合マネジメントシステム体制を継続し、引き続き業務に当たりました。

- 1 しごとと改革支援委員会

AVCCの求める人財像を目指し、従業員一人ひとりが自律的に自身のしごとを振り返り、改革していくこと、またライフキャリアを見据えた目標を実現するために活動することを支援しています。令和6年度も引き続き、仕事や個人活動を振り返り、今後の目標設定を行う「しごとカシート」の更新（新規作成）（4月～面談日まで）、部門の業務を見える化する「部門しごとカシート」の更新（4月～6月）、部門長面談の実施（7月～10月）、KK²キャリア相談室の利用促進を行いました。

- 2 しごと力向上委員会

AVCCでは、全従業員がデジタル社会の中で求められる様々なしごと力の習得・向上を目指しています。進化の著しい生成AIやプログラミング言語や様々な分野に対し、その分野が得意な社内・社外関係者を講師に選抜し社内研修を行う事で、従業員全体のスキルアップを図り、誰もがデジタル社会で活躍できる人材となれるよう社内活動を実施しました。

- 3 情報セキュリティ・個人情報保護委員会

①情報資産・個人情報の保護のための活動

AVCCが保有する情報資産（個人情報を含む）を維持するための社内活動を実施しました。具体的には、定期的実施している各部門で実施する情報資産の見直し、リスクアセスメントの継続・見直しに加え、今年度も職員教育、内部監査を実施しました。

職員教育は全従業員向けを5月と3月に実施。その他、新規入職者に対して、社内LMSシステムを活用して実施しました。

②プライバシーマーク、ISMS認証の維持

プライバシーマーク認証における、構築・運用の元となるJISQ15001、ISMS認証のISO27001規格がともに改訂された事に伴い、これらの改正に合わせた社内管理策の見直しを実施しました。

ISMSについては10月に定期審査及び規格改訂対応の審査が行われ、引き続き認証を維持しています。プライバシーマーク認証については、認証維持のための申請を行いました（現在審査中）。

- 4 事業継続計画策定委員会

①事業継続計画の見直し

現在策定しているBCP（事業継続計画）について、業務内容、組織体制の変化に合わせて見

直しを行っています（現在も見直し継続中）。

②安否確認訓練の実施

令和6年度も例年に引き続き、年2回（6月、12月）、従業員全体（派遣社員を含む）に対する安否確認訓練を行いました。両回ともに、全員ではありませんでしたが、95%以上の職員の安否確認が行えました。

（2）AVCC賛助会

引き続き賛助会員と協力し、社会に貢献する事業を進めております。

令和7年3月31日現在 40団体が会員となっております

（3）AVCC相互協力協定（MOU）締結組織

AVCCと相互協力協定（MOU）を締結している団体とは、KK²プログラムの企画・開発や、AVCCコンサルティング事業の支援、デジタル公民館®活動への協力など、多方面でご協力をいただいています。令和6年度も、相互の事業に有益な活動ができるよう引き続きご協力いただきました（順不同）

相互協力協定（MOU）団体

[一般社団法人 長洞元気村](#)

[社会福祉法人 スマイリング・パーク](#)

[社会福祉法人 むそう](#)

[NPO法人「居場所」創造プロジェクト（居場所ハウス）](#)

[やねだん自治公民館](#)

[一般社団法人 話力総合研究所](#)

[株式会社タフ・ジャパン](#)

[株式会社テラユナイテッド](#)

（4）AVCC&KK²事業説明会の開催

AVCC賛助会各社、KK²協賛メンバー様、KK²講師の方々など、ご支援いただいている皆さまへ各年度の事業テーマのご説明とテーマに関連する講演会を開催いたします（AVCC&KK²事業説明会）。

令和6年度は6月28日に片山善博さん（大正大学教



授)をお招きし「[令和6年度 AVCC & KK²事業説明会『どうする? これからの日本と日本人』](#)」を開催しました。会場に50名、オンラインでは132名にご参加いただきました。動画視聴回数は209回でした。

開催日	会場参加者	オンライン参加者	内訳メンバー	内訳Web会員	動画視聴者数	合計
2024/6/28	50	132	76	106	209	391

V AVCCの人財の拡充と育成

AVCCでは、人財の確保が重要な課題となっています。JD（ジョブディスクリプション：職務記述書）を明示し、多様な人財確保が急がれます。

また、「求める人財像」を明確に定義し、従業員一人ひとりがスキル向上、意識向上に向けて努力することが求められています。

そのためのサポート体制を整えていきます。

（１）AVCCが求める人財像

『周りの人のために自分は何ができるかを考え

Human resource who think about what you can do for the people around you,

必要な時は他者の援助を取りつけ

get help from others when you need it,

あらゆる変化にしなやかに対応し

be flexible to all kinds of changes,

自らを常にアップデートし続ける人財

and constantly update yourself』

（２）公的資格取得支援

業務に必要な資格を取得するための支援制度を設け、運用をしております。

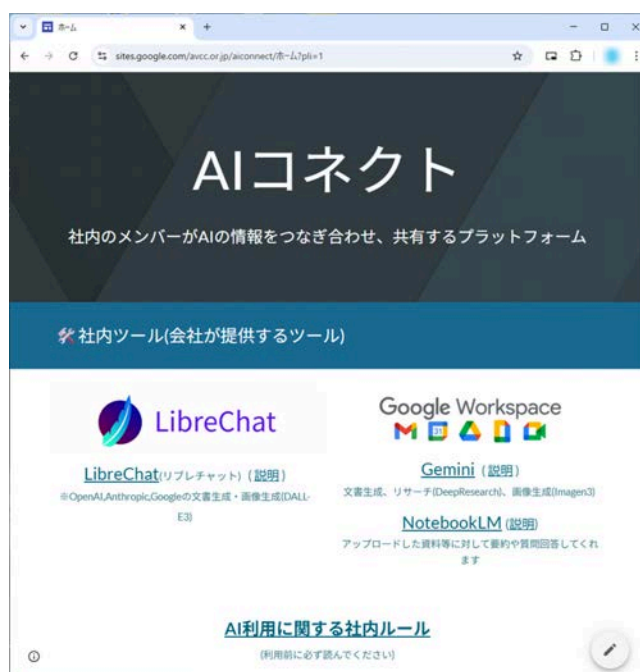
令和6年度は1名の利用がありました。

（３）業務に活用できるAIの利用環境の充実を図る（IT総務部 ITチーム）

当事業年度におきましては、契約中の生成AIサービス（ChatGPT、Geminiなど）を活用し、全社的な業務効率向上への寄与を目指し、以下の取り組みを実施いたしました。

- 社内情報ポータルサイト「AIコネクト」を通じた利用環境の整備

社内向け情報ポータルサイト「AIコネクト」を公開し、ChatGPTやGeminiをはじめとする各種AIサービスの利用ルール、具体的な利用方法、各サービスサイトへのハイパーリンク、さらに多様なAIの紹介記事などを掲載いたしました。この「AIコネクト」を通じて、生成AIの活用事例や具体的な効果を全社的に共有し、従業員間での認知度向上と利用促進を図りました。



- AIの安全な利用に向けた体制の構築

AIを安全かつ効果的に活用するためのガイドラインを作成し、全従業員が安心してAIを利用できる体制を整えました。作成したガイドラインは、「AIコネクト」を通じて周知徹底いたしました。

- 外部連携による活用推進

株式会社メディアリンク 教育イノベーション推進部のご協力を得て、AIの更なる活用可能性についての議論や具体的な活用プランの策定を進めました。

(4) 社内インフラの管理及びメンテナンスの強化 (IT総務部 ITチーム)

当事業年度におけるセキュリティ強化の主要な取り組みとして、全社内のPCに対しEDR (Endpoint Detection and Response) ソリューションを導入いたしました。これにより、エンドポイントにおける未知の脅威や巧妙なサイバー攻撃に対する検知能力及びインシデント発生時の迅速な対応能力が大幅に向上し、社内IT環境のセキュリティレベルが一層強化されました。

(5) 業務効率化に繋がる新しい技術の探索及び導入 (IT総務部 ITチーム)

当事業年度におきましては、進化する技術動向を注視し、業務効率化や利便性向上に貢献し得る新しいツールやシステムの導入検討を行いました。

特に、現場の施工管理業務に着目し、従来の紙ベースで行われている業務をiPadに置き換えることにより、デジタル化を推進し、業務効率の大幅な向上を目指す計画の策定に着手いたしまし

た。次期以降の本格導入に向けた準備を行いました。

（６）従業員の働く環境をサポート（IT総務部 総務グループ）

- 1 ハラスメント相談窓口の運用

令和４年４月より設置し、従業員からの相談に対応しております。

VI 運営に関する事項

(1) 役員名簿

理事長	久保田了司	当財団代表理事
常務理事	久保田庸弘	当財団業務執行理事
理事	清水 康敬	東京工業大学 名誉教授
	永岡 慶三	早稲田大学 名誉教授
	伊東信一郎	ANAホールディングス株式会社 特別顧問
	佐野 元昭	株式会社ケイ・アイ・エス情報科学研究所 取締役会長
	伊庭野基明	グローバルキャリアカウンセラービジネスコーチ
	田中 純一	一般社団法人ビル減災研究所 代表理事
	平田 英世	富士通株式会社 元シニアアドバイザー
	秋田 義一	一般社団法人話力総合研究所 代表理事
	古賀 伸明	元 連合会長、(公社)国際経済労働研究所 会長
	野田 弘子	プロビティコンサルティング株式会社 代表
監事	鈴木 重文	弁護士
評議員	米里 文明	株式会社インフィニトラベルインフォメーション 元代表取締役社長
	稲葉 徹	センクシア株式会社 前社外役員
	大串 夏身	昭和女子大学 名誉教授
	唐澤 誠	株式会社唐澤誠建築音響設計事務所 代表取締役
	近藤 孝夫	株式会社同学社 代表取締役

(2) 会議の開催

-1 第1回理事会(通常)

開催日：令和6年6月8日

開催場所：霞が関ナレッジスクエア

主な議題：令和5(2023)年度事業報告書・決算報告書

株式会社メディアリンクへの業務委託報告

理事・監事の改選、新任理事の紹介

-2 第1回評議員会（定時）

開催日：令和6年6月21日

開催場所：霞が関ナレッジスクエア

主な議題：令和5(2024)年度事業報告書・決算報告書

株式会社メディアリンクへの業務委託報告

理事・監事の改選、新任理事の承認

役員報酬について

-3 第2回理事会（臨時）

開催日：令和6年6月21日

開催場所：霞が関ナレッジスクエア

主な議題：代表理事及び業務執行理事の選任

-4 第1回 霞が関7号館PFI&AVCC共有会議

開催日：令和6年7月17日

開催場所：霞が関ナレッジスクエア

主な議題：令和5年度霞が関ナレッジスクエア事業報告及び意見交換

参加者：文部科学省大臣官房会計課

霞が関7号館PFI株式会社(東京建物株式会社) ビルマネジメント第一部

一般財団法人AVCC 霞が関ナレッジスクエア

-5 第2回 霞が関7号館PFI&AVCC共有会議

開催日：令和6年12月25日

開催場所：霞が関ナレッジスクエア

主な議題：令和6年度霞が関ナレッジスクエア事業上期報告及び意見交換

参加者：文部科学省大臣官房会計課

霞が関7号館PFI株式会社(東京建物株式会社) ビルマネジメント第一部

一般財団法人AVCC 霞が関ナレッジスクエア

- 6 第3回理事会（通常）

開催日：令和7年3月5日

開催場所：霞が関ナレッジスクエア

主な議題：令和7(2025)年度事業計画書・収支予算書

株式会社メディアリンクへの業務委託予定

（3）会員等（令和7年3月）

賛助会員：40団体

協賛メンバー：27団体

Web会員：29,260名

【令和6(2024)年度事業報告の附属明細書について】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以 上